

令和6年度

教育委員会自己点検・評価
報告書

塩尻市教育委員会

目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
中期戦略・年度目標・事務事業評価シート	5
交流文化部	5
こども教育部	28
教育委員会個別計画成果指標等	50
塩尻市教育振興基本計画	50
元気っ子育成支援プランⅢ	52
塩尻市生涯学習推進プランⅢ	55
塩尻市スポーツ推進計画	56
図書館サービス計画	58
子ども読書活動推進計画	59
令和5年度 塩尻市教育委員会会議等記録	60

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

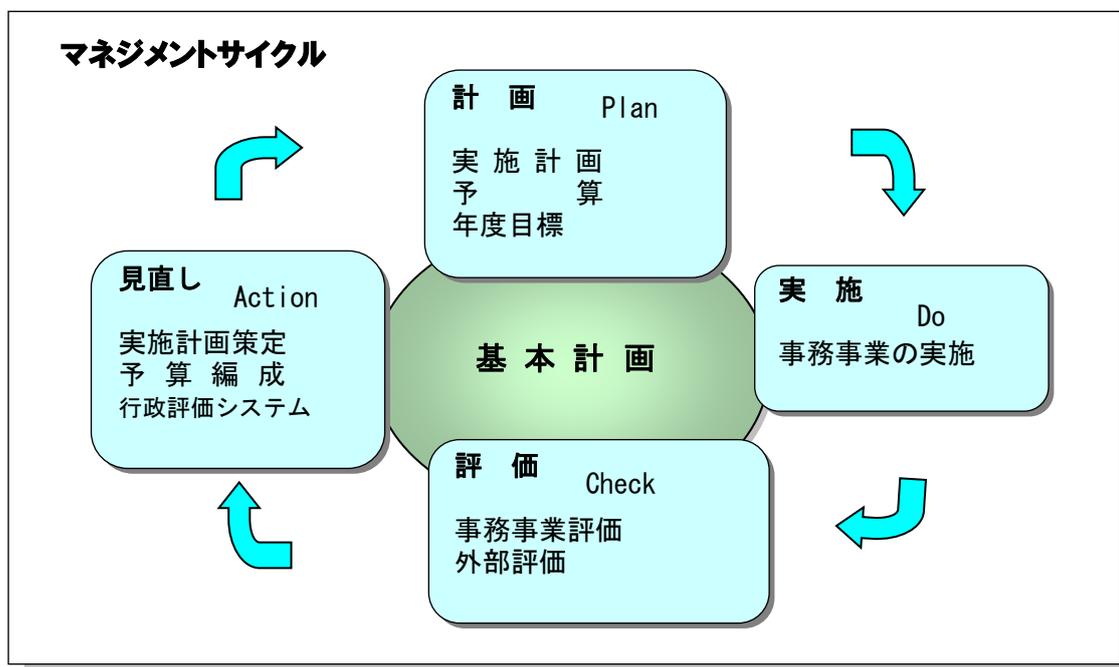
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

中期戦略・年度目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



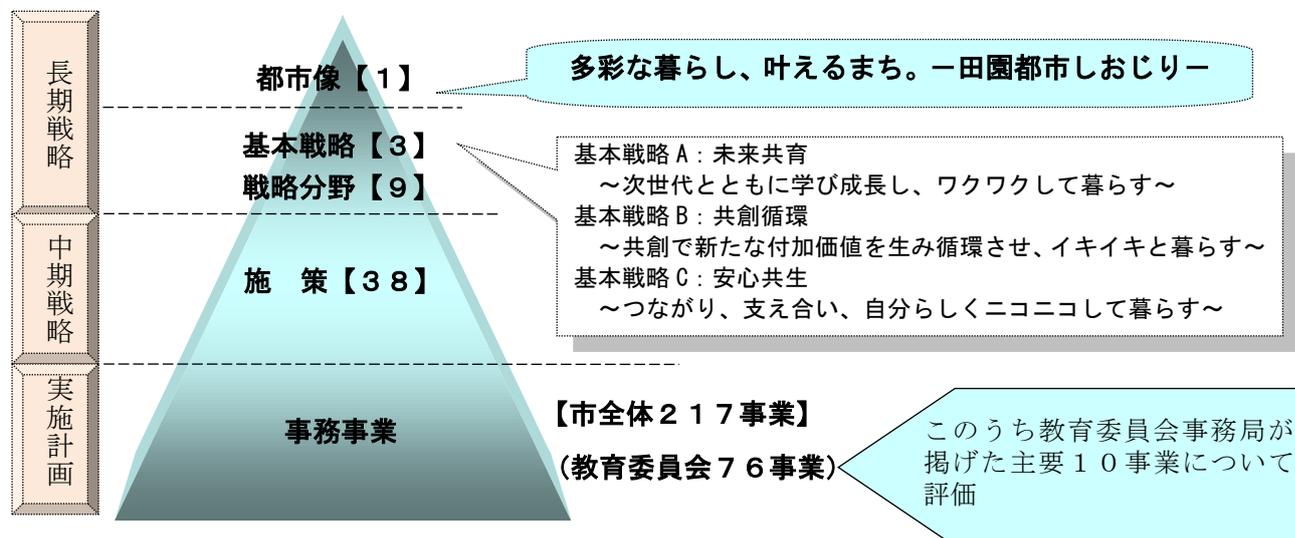
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

教育委員会事務局（交流文化部、こども教育部）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの10事業について自己点検評価を行います。

【第6次塩尻市総合計画の施策体系】



○教委委員会関係事業等の内訳

	行政評価システム (市企画課)	教育委員会	
	事務事業数	部重点方針 (年度当初に作成)	自己点検・評価 対象事業
交流文化部	33	4	5
こども教育部	43	4	5
合計	76	8	10

(4) 評価のプロセス

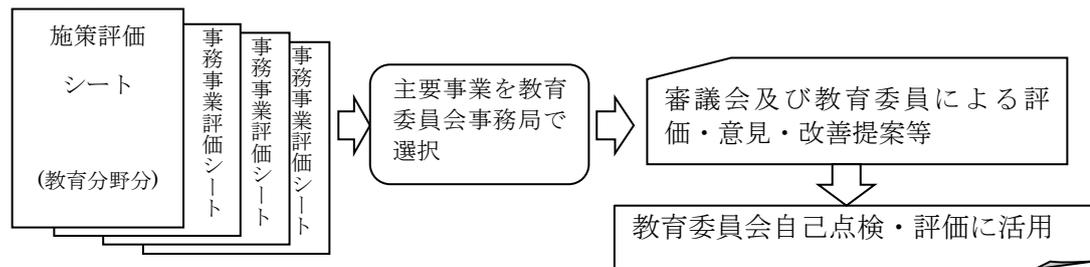
市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。評価に対して担当課により改善内容を策定しております。

■第6次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

実施時期	R6年6月～	R6年9月～11月
評価名	R5事後評価	R6事中評価
目的・活用	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標の分析 決算説明資料への活用 実施計画への活用 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の課題抽出 改革、改善案の提案 次年度の予算編成に活用 (予算との連動)

イメージ図



(5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、令和6年11月13日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

塩尻市教育振興審議会

1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 令和6年11月から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・藤井 善章 氏 信州大学教職支援センター 教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 准教授
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

第1回 令和6年11月13日

第2回 令和6年12月23日

【参考 関係例規】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○塩尻市教育振興審議会条例

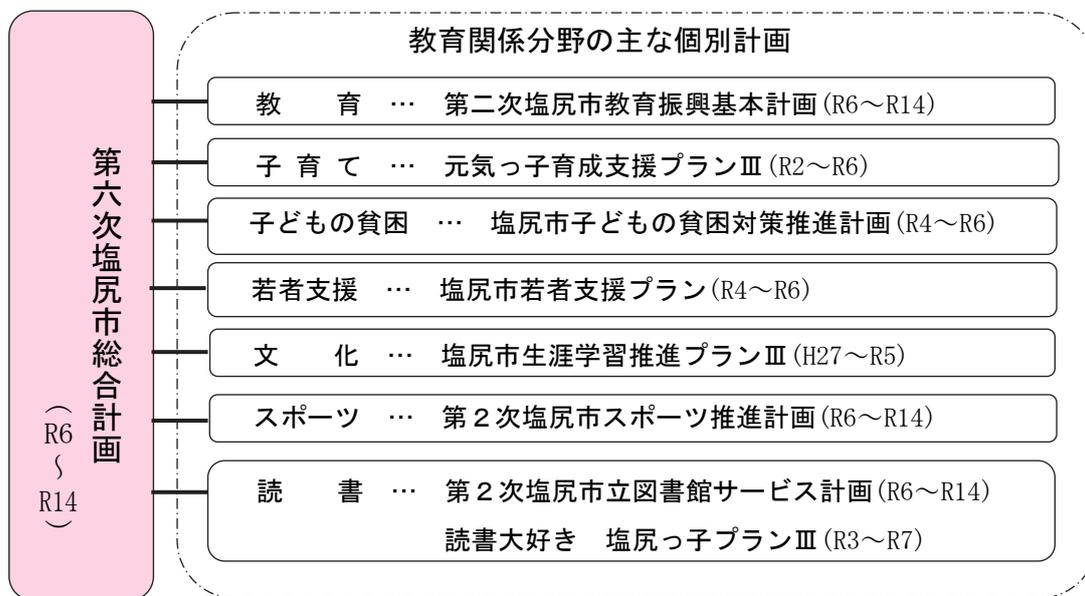
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第六塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。



()内は計画期間

方針1: 生涯学習(芸術文化・公民館・スポーツ)の更なる活性化

- ・公民館活動を中心とした地域交流・生涯学習の場の提供と支援・サポートの実施
- ・スポーツを通じた交流を促すための仕掛けと環境の整備

No.	施策	施策の目指す方向性	概要			
1	3-1 行事や文化活動で、新たな発見や刺激が得られる機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や生涯学習施設では、自主的な交流と学習が行われることで生きがいや楽しみが創出され、活動を通じて仲間がつくられています。また、学びの成果が個人だけでなく、地域にも還元されています。 ・地域の伝統的な行事や文化活動を通して、様々な世代間のつながりが生まれ、次の世代へ受け継がれています。 ・様々な世代にとってこの地域で学んだ経験が、その後の人生に影響を与える原体験になっています。 				
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
	生涯学習支援事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・市民へ生涯学習に適した環境と機会を提供し、生涯学習社会の形成を図るため、社会教育委員会議及びロマン大学の運営を行います。 			
				当年度取り組み課題と達成すべき目標		
				<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議を年4回実施するほか、中信地区社会教育委員連絡協議会研修会で実践発表を行います。 ・ロマン大学を2学年合わせて計50回程度実施し、シニアの皆さんの学びと社会参加を促進します。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
総合文化センター管理事業(施設改修)	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点施設として幅広く利用されている総合文化センターの安全かつ快適な環境整備を図るため、計画的に施設改修及び備品更新を実施します。 				
			当年度取り組み課題と達成すべき目標			
			<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の管理と営繕修繕を行い、利用者が安全に施設を利用できる環境を整備します。 ・会議室の椅子を更新し、利用者が施設を快適に利用できる環境を整備します。 			
1	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
	公民館事業	社会教育スポーツ課 社会教育係 中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくり」「人づくり」「つながりづくり」の3つの目標が達成できる公民館活動を実施します。 			
				当年度取り組み課題と達成すべき目標		
				<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かしつつ、誰でも参加のできる学びの場やつながりの場を提供していきます。 ・地区館や他団体との連携を図り、また、分館活動の支援を実施していきます。 		
	上記に記載したもの以外の事務事業					
	二十歳のつどい運営事業	吉田西防災コミュニティセンター運営事業	学校開放事業	公民館施設管理事業		
北部交流センター管理諸経費						
No.	施策	施策の目指す方向性	概要			
2	3-2 文化芸術に触れ、活動する機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ・市内や近隣で、優れた文化や芸術に触れる機会が確保されており、豊かな心や感性が表現・共有される場がつくられています。 ・仲間とともに活動する機会があり、文化会館(レザンホール)が文化芸術の鑑賞のきっかけや拠点となって、様々な楽しみ方が生み出されています。 				
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
	全国短歌フォーラム事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻から短歌の文化を全国に発信するため、全国の愛好者から短歌を募り、選考・選評を行う全国短歌フォーラム事業を実施します。 ・若年層を含めた幅広い世代に短歌の魅力を伝えるため、講座やイベント等を実施します。 			
				当年度取り組み課題と達成すべき目標		
				<ul style="list-style-type: none"> ・全国に広く投稿歌の募集を行い、選考による選考、作品集の作成、入賞者への記念品の送付を行います。 ・市内学校を対象とした学生向け短歌大会を実施し、学生の短歌作品の発表の機会を創出します。 ・短歌講座、講演会等のイベントを実施し、短歌への興味関心を広げます。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
文化会館運営事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の拠点である文化会館の安全かつ快適な環境を提供するため、施設の管理運営と芸術文化鑑賞事業等を行います。 				
			当年度取り組み課題と達成すべき目標			
			<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による管理運営を行い、利用者サービスの向上や芸術文化の普及・振興を図ります。 			
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要				
芸術文化事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の芸術文化活動の披露の場やつながりの場を創出するため、芸術文化事業を実施するとともに、市所有の芸術作品をより多くの市民が鑑賞できる場を提供します。 ・青少年の芸術文化部門における活躍を応援し、本市における芸術文化の振興と底上げを図るため、激励金を交付します。 				
			当年度取り組み課題と達成すべき目標			
			<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化5事業を年次計画に沿って実施します。 ・市が所有する芸術作品を多くの市民が鑑賞できるよう、ミニギャラリーの作品を定期的に入れ替えます。 ・全国大会等に出場する青少年または市内学校に対し、激励金を交付します。 			

方針1: 生涯学習(芸術文化・公民館・スポーツ)の更なる活性化

- ・公民館活動を中心にした地域交流・生涯学習の場の提供と支援・サポートの実施
- ・スポーツを通じた交流を促すための仕掛けと環境の整備

No.	施策	実施の方向性	施策の目指す方向性
3	3-4 スポーツ・運動に触れ、参加する・見る・支える場所・機会が広がる		<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる機会や場があることで、世代・性別・国籍・障がいの有無などに問わず、市民がスポーツや運動に親しみ、自らの心身の健康の維持・増進を意識しています。 ・参加する・見る・支える活動を含め、つながりが広がることでスポーツが生活に定着しています。 ・スポーツや運動の指導者が意欲のある市民に知識や技術を伝えることで、次世代の指導者の育成につながる好循環が起きています。
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	市民スポーツ振興事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民みな1スポーツ」を推進するため、スポーツの普及や健康体づくりの推進、競技スポーツの振興に力を入れた事業を展開します。
	当年度取り組み課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行がスムーズに行えるよう、指導員となる人材育成に取り組めます。 ・全国大会等へ出場する選手に激励金を交付し、競技力向上と活動支援に取り組めます。 ・市民が行う各種大会やスポーツ活動に対し補助金を交付し、大会補助、競技人口の拡大を図ります。 ・国スポ実行委員会設立に向け、先確市からの情報をもとに市内各種団体や近隣市と連携し準備を進めます。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
競技力向上事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市スポーツ協会に体育振興事業を委託し、競技スポーツを推進するとともに、安定的な事務局運営のため活動補助金を交付します。 	
当年度取り組み課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツの推進を図るため、市民スポーツ祭や各地区等へ委託料を交付し活動支援を進めます。 			
3	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	健康スポーツ推進事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康体づくりを推進するため、スポーツ推進委員やスポーツ普及員を担う人材の資質向上を図ります。
	当年度取り組み課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興を図るため、研修会や講習会を実施し、推進委員・普及員としてのスキルアップを目指します。 ・ファミリーズボレクフェスティバルの開催により、多くの市民の皆さんがスポーツを楽しむ機会を創出します。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	体育施設管理運営事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民みな1スポーツ」を推進するため、市内体育施設の適切な管理運営を行います。
当年度取り組み課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会等へ施設管理を委託し安全・安心な体育施設の管理を継続していきます。 			
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
総合体育館運営事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館(ユメックスアリーナ)を指定管理者制度により拠点スポーツ施設として運営し、出会いや交流のきっかけづくりを推進します。 	
当年度取り組み課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による管理運営を行い、利用者サービスの向上やスポーツの普及・振興、交流を図ります。 			
上記に記載したもの以外の事務事業			
	塩尻トレーニングプラザ運営事業		

方針2: 博物館・文化財の保存活用の推進

- ・文化財保存活用地域計画の多方面への発信と活用への体制づくり
- ・平出博物館、史跡公園の魅力発信と活用へ向けた取り組み強化
- ・重伝建をはじめとする市内文化財の情報発信と活用への取り組み強化

No.	施策	施策の目指す方向性	
1	3-5 文化財などが知られ、保存・活用されとともに、他分野と横断的につながり、相互に知る機会が得られる	<ul style="list-style-type: none"> ・本市にある文化財や博物館等の資料など、貴重な歴史文化遺産が、市民共通の財産として保存・活用、継承されています。 ・重要文化財民家、史跡平出遺跡、重要伝統的建造物群保存地区、各地域に伝わる無形民俗文化財のお祭りははじめとした多種多様な文化財や博物館が様々な分野と連携しながら認知されることで、新たな魅力と交流につながっています。 	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	文化財管理事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・市域に存在する文化財の保存活用を図り、地域の歴史・文化を後世へと継承します。
	当年度取り組む課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・既指定の文化財について、現状の調査を行います。 ・重要文化財小松家住宅の保存活用についての計画策定に着手し、保存活用の方向性を示します。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	短歌館運営事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻短歌館において、収集・保管、展示、調査・研究、教育普及・情報発信を行い、短歌の里広丘の短歌文化を発信し、広く周知を図ります。
	当年度取り組む課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展(3回)、塩尻短歌大学(3回)等を開催し、短歌について知る機会を提供します。 ・百人一首大会や広丘夏祭りに合わせた灯籠短歌大会、春待ちコンサート等を、短歌館の協力組織である短歌館協力会と連携して開催します。 ・公民館の短歌講座や小中学校の短歌学習への協力など、関係機関と連携を図りながら短歌文化の醸成を図ります。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
自然博物館運営事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの豊かな自然を守り、未来へと伝える博物館を目指し、自然に関する資料の収集・保管、展示、調査・研究、教育普及・情報発信を行います。 	
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展(4回)、自然科学講座(2回)、自然観察会(4回)等を開催し、塩尻の自然について学ぶ機会を提供します。 ・昆虫標本の同定作業およびデータベース化を継続して実施します。 ・自然博物館協力会と連携を図り、小坂田公園周辺の自然散策マップを作成します。 			
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
重伝建整備事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・重要伝統的建造物群保存地区に選定されている塩尻市奈良井・木曾平沢の歴史的町並みの保全を図ります。 	
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業を活用した修理修景事業を実施します。令和6年度は奈良井地区で修理2件、修景1件、木曾平沢地区で修理2件を行います。 			
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
楢川地区文化施設運営事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> ・楢川地区文化施設(中村邸・木曾漆器館・賀川閑所)の運営を行い、街道・宿場や漆器産業についての歴史・文化の周知を図ります。 	
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において資料の展示を行い、歴史や文化の周知を図ります。 ・漆塗り体験講座や塗箸への漆付け体験、食文化体験講座を開催し、楢川地域の伝統文化について学ぶ機会を設けます。 ・国指定重要有形民俗文化財「木曾塗の製作用具及び製品」3,729点の台帳の電子データ化を進めます。 			
上記に記載したもの以外の事務事業			
古文書室運営事業	町並み保存推進事業	古田晃記念館諸経費	

方針2: 博物館・文化財の保存活用の推進

- ・文化財保存活用地域計画の多方面への発信と活用への体制づくり
- ・平出博物館、史跡公園の魅力発信と活用へ向けた取り組み強化
- ・重伝建をはじめとする市内文化財の情報発信と活用への取り組み強化

No.	施策	施策の目指す方向性	
2	3-5 文化財などが知られ、保存・活用されるときにも、他分野と横断的につながり、相互に知る機会が得られる		<ul style="list-style-type: none"> ・本市にある文化財や博物館等の資料など、貴重な歴史文化遺産が、市民共通の財産として保存・活用、継承されています。 ・重要文化財民家、史跡平出遺跡、重要伝統的建造物群保存地区、各地域に伝わる無形民俗文化財のお祭りをはじめとした多種多様な文化財や博物館が様々な分野と連携しながら認知されることで、新たな魅力と交流につながっています。
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	平出博物館運営事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域遺産が市民共有の財産として保存・継承され、新たな地域文化を創造するために、収集保管・調査研究・教育普及・公開発信等の事業を展開します。
	当年度取り組む課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、多様な講座・講演会を実施します。 ・市内博物館施設と連携し、年度内に収蔵資料のデジタルデータベースを作成し、地域遺産を公開・発信します。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
新平出博物館整備事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化等様々な課題を抱える平出博物館を、多くの市民が集い・語り・交流する博物館として新たに整備します。 	
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後予定される新博物館整備事業が円滑に進められるよう、2月までに試掘確認調査を実施し、建設予定地内における埋蔵文化財の存否を明らかにします。 			
2	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	平出遺跡公園事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・平出遺跡公園の適切な維持管理を行うとともに、市民が地域遺産に触れ合う機会を提供するための事業を実施します。
	当年度取り組む課題と達成すべき目標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が著しい復元住居2棟(J-48、53号住)の大規模改修を12月までに実施し、計画的な維持管理と来園者の安全確保を行います。 ・9月の「ひらいで遺跡まつり」をはじめとする遺跡公園を活用した各種事業を実施し、認知度の向上を図ることで、新たな魅力と交流を創造します。 		
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	埋蔵文化財保護事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業を実施し、埋蔵文化財の記録保存を行います。
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・市道広丘東通線拡幅に伴う内畑遺跡の発掘調査を7月までに行います。 ・塩尻協立病院敷地内において令和5年度に発掘調査を実施した五日市場遺跡の整理調査を実施し、年度内に発掘調査報告書として刊行します。 			
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
本洗馬歴史の里運営事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域遺産が市民共有の財産として保存・継承され、新たな地域文化を創造するために、収集保管・調査研究・教育普及・公開発信等の事業を展開します。 	
当年度取り組む課題と達成すべき目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、多様な講座・講演会を実施し、洗馬地域の歴史に関する理解の深化と魅力の発信を行います。 			

方針3: 快適な交流拠点施設維持と更なる活性化

- ・えんぱーくの機器・設備の機能向上(利用者・入居者の環境改善)
- ・文化会館・市立体育館など交流の拠点となる施設改修に向けた方針の決定
- ・学びと交流・確かな情報提供による課題解決につながる体制の強化

No.	施策	3-2 文化芸術に触れ、活動する機会がある		施策の目指す方向性 ・市内や近隣で、優れた文化や芸術に触れる機会が確保されており、豊かな心や感性が表現・共有される場がとられています。 ・仲間とともに活動する機会があり、文化会館(レザンホール)が文化芸術の鑑賞のきっかけや拠点となつて、様々な楽しみ方が生み出されています。
		当年度重点化する事務事業 文化会館改修事業	担当課・係 社会教育スポーツ課 社会教育係	概要 ・文化会館の安全かつ快適な環境整備を図るため、特定天井の耐震改修工事及び劣化箇所等の大規模改修工事に係る基本計画を策定します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・6月までにプロポーザル方式により業務を発注します。 ・実施計画の補正までに実施箇所及び概算事業費を算出し、今後の方向性について検討・決定を行います。
	1			
	・文化会館の安全かつ快適な環境整備を図るため、特定天井の耐震改修工事及び劣化箇所等の大規模改修工事に係る基本計画を策定します。			
No.	施策	3-3 本をはじめ新たな情報・知識に触れ、探索・体験する機会がある		施策の目指す方向性 ・図書館が本を貸し出すだけでなく、知りたいことを効率よく調べ、自身が興味や接点をもっていなかった分野のことを知り、学びを深め、活動の契機を提供する多面的な役割を果たしています。 ・図書館やそこで提供される情報や知識が様々な分野の活動を下支える基盤となっており、図書館の空間に多様な人々が集まることで新たな交流が生まれています。
		当年度重点化する事務事業 市民読書活動推進事業	担当課・係 図書館	概要 ・幼児・児童の読書活動を推進するとともに、ボランティアを育成します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・サードブックの導入について、配布時期や対象等、具体的な事業内容の検討を行います。 ・市町村と県による協働電子図書館「テジとよ信州」を市内各学校へ展開します。
	2			
	・市民や市外居住の方に向け文化的な体験機会を創出し、生涯学習の場を提供するとともに、本市の取り組みを広く周知します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・参加者同士の交流を生み出す、仮称「本の寺子屋友の会」の設置に向けて準備を進め、市民が主体的に活動できるような会とします。			
No.	施策	本の寺子屋推進事業		施策の目指す方向性 ・市民や市外居住の方に向け文化的な体験機会を創出し、生涯学習の場を提供するとともに、本市の取り組みを広く周知します。
		当年度重点化する事務事業 図書館サービス基盤整備事業	担当課・係 図書館	概要 ・図書館資料の充実と活用、図書館システムによる安定的な運営を行います。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・多様化する利用者ニーズに応じた情報サービスを適切に行えるよう、資料の購入と除籍を進め、寄贈資料の登録を行います。 ・「テジとよ信州」の利用拡大を図るため、利用者のニーズに沿った選書によりコンテンツの充実や、「アクセシブルライブラリー」を含めて、新たな図書館サービスの魅力を周知します。
	3			
	・図書館資料の充実と活用、図書館システムによる安定的な運営を行います。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・多様化する利用者ニーズに応じた情報サービスを適切に行えるよう、資料の購入と除籍を進め、寄贈資料の登録を行います。 ・「テジとよ信州」の利用拡大を図るため、利用者のニーズに沿った選書によりコンテンツの充実や、「アクセシブルライブラリー」を含めて、新たな図書館サービスの魅力を周知します。			
上記に記載したもの以外の事務事業				
図書館事業諸経費				
No.	施策	3-4 スポーツ・運動に触れ、参加する・見る・支える場所・機会が広がる		施策の目指す方向性 ・気軽に参加できる機会や場があることで、世代・性別・国籍・障がいの有無などに問わず、市民がスポーツや運動に親しみ、自らの心身の健康の維持・増進を意識しています。 ・参加する・見る・支える活動を含め、つながりが広がることでスポーツが生活に定着しています。 ・スポーツや運動の指導者が意欲のある市民に知識や技術を伝えることで、次世代の指導者の育成につながる好循環が起きています。
		当年度重点化する事務事業 体育施設整備事業(ハード事業)	担当課・係 社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	概要 ・中央スポーツ公園にあるトイレ施設2棟(ふるさとの丘トイレ:女3室、男1室小3、管理棟トイレ:女3室、男2室、小3)について、利便性の低いふるさとの丘トイレを取り壊し、管理棟トイレを改修します。公園全体としては、トイレ室の総数を削減となるものの、設置場所を適正に配置することにより、利用者の利便性の向上を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・各種大会の利用者の利便性を鑑み、設置場所について利用団体と情報を共有し、より良い環境整備を進めます。
	3			
	・中央スポーツ公園にあるトイレ施設2棟(ふるさとの丘トイレ:女3室、男1室小3、管理棟トイレ:女3室、男2室、小3)について、利便性の低いふるさとの丘トイレを取り壊し、管理棟トイレを改修します。公園全体としては、トイレ室の総数を削減となるものの、設置場所を適正に配置することにより、利用者の利便性の向上を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・各種大会の利用者の利便性を鑑み、設置場所について利用団体と情報を共有し、より良い環境整備を進めます。			

方針3: 快適な交流拠点施設維持と更なる活性化

- ・えんぱーくの機器・設備の機能向上(利用者・入居者の環境改善)
- ・文化会館・市立体育館など交流の拠点となる施設改修に向けた方針の決定
- ・学びと交流・確かな情報提供による課題解決につながる体制の強化

No.	施策	実施の目指す方向性	
4	6-1 地域を良くする活動に取り組む人や組織に情報や資源や仲間が集まってくる		<p>・「地域を良くしていきたい」「こうすれば塩尻のまちはもっと住み良く楽しくなる」という想いを抱く人や、組織(企業・団体等)などが、すでに活動している実践者や仲間と出会って交流することによって、地域課題を解決する新しい活動や組織が生まれています。</p> <p>・すでに活動している団体に、その志や活動計画が共有・共感され、パートナーとして連携(連携)することによって、活動基盤が強化されています。</p>
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	市民交流センター管理諸経費(施設改修)	市民交流センター 市民活動支援係	<p>・市民交流センターの長寿命化、エネルギー消費最適化及び防災拠点としての機能強化を図るため、設備改修工事を行います。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・7月までにプロポーザル方式により業務を発注し、令和7年1月に完了します。</p> <p>・限られた工期の中、安全かつ計画的に工事が実施されるよう、施工業者と連携を図ります。</p> <p>・工事日程や休館期間、代替措置(施設案内)等は、多種多様な媒体により適切な時期かつ継続的な周知を行っていきます。</p> <p>・休館期間中における、市民サロン、図書館を居場所として利用する市民の場の確保に努めます。</p>
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
市民交流センター管理諸経費(長期修繕計画策定)	市民交流センター 市民活動支援係	<p>・市民交流センターにおける、適正かつ効果的な施設の維持及び管理運営を図るため、長期修繕計画及び建物維持管理の業務仕様書の見直しを行います。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・5月までにプロポーザル方式により業務を発注します。</p> <p>・実施計画の補正までに計画を策定し、今後の方向性について検討・決定を行います。</p>	
4	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	市民交流センター交流企画事業	市民交流センター 市民活動支援係	<p>・5つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を融合させた事業を実施するとともに、中心市街地のにぎわい創出及び街づくりを担う人材育成を図ります。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・今年度予定している事業の実施、リニューアルオープンの準備を進めるとともに、新たな価値提供を図るための研究・検討を行います。</p> <p>・貸館業務における支払い方法等のオンライン化及び市民サロン、壁柱利用の予約管理の電子システム化について、次年度のシステム更新に向け、研究を進めます。</p>
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	協働のまちづくり推進事業	市民交流センター 市民活動支援係	<p>・まちづくりチャレンジ事業により、市民の自立した自治を目指す主体的な市民公益活動を支援するとともに、まちづくりを担う人材や市民活動団体を育成します。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・まちづくりチャレンジ事業実施団体や市民活動団体の更なる育成のため、団体が抱える課題に耳を傾け、中間支援組織等と連携し、解決及び向上につながる支援を行います。</p> <p>・市民活動団体等が協働によるまちづくりや公益活動ができるよう、団体の紹介や活動の周知をホームページやイベントを通して行います。</p>
上記に記載したもの以外の事務事業			
市民交流センター情報関連機器運用事業			

方針4: 安心して暮らせる社会の実現

- ・女性相談の充実と適切なサポートの実施
- ・人権教育による意識啓発

No. 1	施策	1-2 家族の形を知る機会や出会う機会がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の制度や企業のサービスにおいても、伝統的な「家族像」のみを前提とせず、世帯構成(ひとり親など)、国籍、性的指向・性自認など多様な家族のあり方に対する正しい知識と公平な配慮が広がっており、ジェンダー平等など差別・ハラスメントの不利益を受けない社会へ変化しています。 ・結婚を望む人が出会う機会があり、市内へ新しい家族・世帯が生まれています。 ・高校生など若い年代から性に関する正しい知識が普及しています。
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要
	女性相談事業		社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の不安や悩み等を解消するため、相談業務を実施するとともに、必要に応じて関係部署及び適切な支援機関につながります。 <p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年にわたり相談業務(DV相談を含む)を実施し、相談者が安心して生活できるように寄り添います。 ・困りごとの相談窓口があることを市民に広く周知し、利用を促します。
	上記に記載したもの以外の事務事業			
	社会人権教育推進事業			
No. 2	施策	2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。 ・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。 ・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんで、心身や技術を鍛える機会が揃っています。
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要
	青少年育成事業		社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を推進し、地域における児童生徒の自主性及び社会性の向上を図るため、青少年に対する街頭指導や見守り活動、子ども会育成会活動の支援等を行います。 <p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成委員協議会及び子ども会育成連絡協議会を開催し、年間の事業を立案・実施します。 ・子ども会育成会に活動補助金を交付し、青少年の健全育成を推進します。 ・松本地方子ども会育成連絡会の当番市として、連絡会及び安全講習会及び育成者講習会を立案・実施します。
	上記に記載したもの以外の事務事業			
	青少年育成施設運営事業			

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名		公民館事業		担当課		社会教育スポーツ課		施策		3-1		
目的		市民		新規/継続		会計区分		継続		一般		
意図		生涯学習を推進すると共に地域連携を更に深めるための仕掛けづくり		令和7年度		令和8年度						
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度		令和7年度		令和8年度							
	○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進 ○分館活動の支援		○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進 ○分館活動の支援									
	予算額	(千円) 42,921	計画額	(千円) 31,796	計画額	(千円) 予算対応						
事業費・財源	地区公民館事業負担金	27,667	地区公民館事業負担金	27,667								
	学級講座講師謝礼	1,100	学級講座講師謝礼	1,100								
	その他	2,988	その他	3,029								
人件費(会計年度任用職員)		11,166	人件費(会計年度任用職員)	人件費(会計年度任用職員)								
特定	2,010	一般	40,911	特定	2,010	一般	29,786	特定	一般			

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	A
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性					
成果	拡充	④		①	
	現状維持	③		⑤	
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
コスト		皆減	縮小	現状維持	拡大

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・各公民館が社会福祉協議会と連携して、福祉・防災などをテーマにした講座を継続して計画・実施している。また社協以外の団体ともそれぞれ地域の特性を活かした取り組みの中で連携し、地域の特性を活かした事業や地域の課題を知る事業を計画・実施している。</p> <p>・分館役員が一堂に会する公民館研究会を開催し、他地区の分館同士の間がかりができ、互いに活動を見学したり、情報交換をしたりする分館があり、分館活動推進の一助となった。</p>	<p>当年度生じた新たな問題等</p> <p>・公民館事業の公民館主事の担う役割は大きく、一昨年から新任の公民館主事が大多数を占め、公民館主事の人員育成が課題となっている。</p> <p>・各主事が地域に入りながら学びつつ、懸命に取り組んでいるが、経験不足な面に対して社会教育の専門的な知識や様々な地域での取り組みを学べる場を設けて、自身の学びが姿勢を整え、成長を促す必要がある。それを踏まえて地区公民館の運営や分館の支援にあたること が理想的である。</p>	<p>・中央、地区公民館による継続的な分館支援。</p> <p>・公民館主事会での研修において主事の人員育成を継続的に行っていく。</p>

第1次評価

第2次評価

事務事業名	公民館事業	課名	社会教育スポーツ課
-------	-------	----	-----------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
地区公民館事業負担金	27,667		27,667		27,667
学級講座講師謝礼	1,100		1,100		1,100
その他	3,029		3,029		3,029
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	31,796	+0	31,796	+0	31,796
財源内訳					
国庫支出金 (名称)			0		0
県支出金 (名称)			0		0
地方債 (名称)			0		0
その他 公民館使用料等	2,010		2,010		-
一般財源	29,786	+0	29,786	+0	31,796

○ 評価指標

評価指標(単位)	公民館事業参加人数(人)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		8,951			
実績値(事後評価)	22,986				
目標値		25,000	25,500	26,000	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)					
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・中央公民館では104回の講座を実施し参加者延べ2,232人、地区公民館では1,002回の講座を実施し参加者延べ20,754人が参加した。</p> <p>・それぞれの地域の特性を生かしつつ公民館活動を展開し、文化祭や運動会(スポレク)なども開催出来た。</p>	<p>・各講座ごとに目標を定めて、その目標達成手段として講座を開催できた。</p> <p>・各公民館が社協などの他団体と連携して、福祉・防災などをテーマにした講座を実施した。</p>	<p>・これからの公民館活動について議論、検討、検証する必要がある。</p> <p>・地域課題解決の事業は、他団体との連携を強化していく必要がある。</p> <p>・分館活動がより活発になるよう中央公民館が中心となり、地区公民館の支援を検討・実施していく必要がある。</p>

作成担当者	交流文化部	中央公民館	職名	係長代理	氏名	安藤 寿秀	連絡先(内線)	3141
最終評価者	社会教育スポーツ課長			担当係長	氏名			

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	分館による事業の差がみられる。地域の主体性も大事だが、活動が弱い分館については、中央公民館や地区公民館が分館活動の手がかりとなる支援をしても良いと思う。地域の特色や産物を生かした特産品などの開発講座など、継続性のある活動として仕掛けを考えてみたらどうか。また、HPで発信していることを、もっと広報すべきと考える。伝統を生かした新たな文化も視野に入れながら、地域全体に響き浸透できる活動へと発展されることを期待している。
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体とも連携し、地域の特性を活かした事業や地域の課題を知る事業を計画・実施していることを評価いたします。 ・さまざまな講座の実施や社会福祉協議会等との連携により、地域での暮らしに根づいた有意義な取り組みをされていると思います。 ・他団体との連携は、これからの公民活動に必要不可欠であるので、既存の連携を深化しつつけていることは評価できます。
改善提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに活動を見学したり、情報交換したりする分館があるので、それをよきモデルにして、困っている主事にそういった分館の取組を紹介するなど学べる場を設ける仕組みづくりをすると持続可能なものになると思います。 ・公民館活動充実のために、多機関や人とのさらなる連携が求められると思います。また、特徴ある分館の活動は大切にしつつ、分館によって活動の濃淡が出ないよう中央からの支援が求められると思われまます。 ・社会問題になっている詐欺被害や鳥獣駆除・地震等の自然災害対策などの身近に起っている事象にも対応できる心構えの講座も適宜・適切に関係課との連携により行うことは必要と思う。（既に行っていれば、引き続き実施してもらいたい）講座も座学方式だけでなく、参加しやすい在り方（気軽に・楽しく・有意義な）により、興味が持てるものになるのではないかと思う。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の特性を生かすためにも、地域に埋もれた人材の活用（協力）が必要です。ICTを活用した人材登録バンクのようなものにより、事務の軽減と利用の手軽さにより、人材活用が容易になると思われまます。すべての人（高校生・大学生も含め）の活躍できる場を公民館活動に組み入れる。公民館活動の敷居を低くする意味からも、例えば、夏休み期間中の学習補助等（既に行っている分館もあるが）からの地域活動参加の拡大に広げるなど。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・分館の特色を生かした活動充実に向けて、引き続き中央・地区公民館からのアドバイスやサポートなど支援の継続・強化を図ります。分館からの相談に対応するほか、出前講座の実施なども検討します。また、年1回開催する公民館研究集会で分館の取り組み紹介や情報交換ができる場を設けます。 ・社会教育施設や学校などの教育機関をはじめ、社会福祉協議会や地域の各種団体、市民活動団体など様々な団体や人との連携をより深め、様々な地域社会の課題に対応した今日的テーマでの活動や講座を企画・実施して、地域課題解決を目指した公民館活動を推進します。 ・各公民館においてHPやSNSを使って広報していますが、より注力することで、たくさんの地域住民の目に留まり、誰でも気軽に参加できる敷居の低い公民館活動を展開します。
-----------	--

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	図書館サービス基盤整備事業		担当課	図書館	施策	3-3			
目的	対象	市民、図書館利用者、団体、企業		新規/継続	継続				
	意図	図書館資料の充実と活用、図書館システムによる安定的な運営		会計区分	一般				
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度						
	○図書館電算機器使用料 ○図書データ整備 ○情報資料の購入	○図書館電算機器使用料 ○図書データ整備 ○情報資料の購入 ○システム改修(カードレス化)	○図書館電算機器使用料 ○図書館システム更新 ○図書データ整備 ○情報資料の購入						
事業費・財源	予算額	(千円) 61,404	計画額	(千円) 61,404	計画額	(千円) 予算対応			
	図書館システム使用料	21,291	図書館システム使用料	21,291					
	図書データ作成委託料	1,884	図書データ作成委託料	1,884					
	図書購入費	30,000	図書購入費	30,000					
	電子図書館協働運営事業負担金	249	電子図書館協働運営事業負担金	249					
	その他	7,980	その他	7,980					
人件費(会計年度任用職員)	0	人件費(会計年度任用職員)	0	人件費(会計年度任用職員)					
特定	1,014	一般	60,390	特定	1,014	一般	60,390	特定	

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
・市民ニーズや多様な需要、要求を把握する一助とするため、あらたに、市民活動団体と共催したおすすめ本を投稿できるフォーラムを作成した。また、他課の職員に協力してもらい、休館中の本館の書籍の設置場所をいくつか設けることができた。利用状況を見ながら、選書にも活かしていきたい。 ・令和8年度の図書館システム更新に向けた準備として、中信地区内の図書館システムの更新予定情報を収集する予定。	・本館休館中に分館でもデジタル活用講座を開所を検討する必要がある。 ・本館休館中に分館により通信環境を整っていないところがあるため、開催方法を検討する必要がある。	・物価高騰に伴い、書籍や雑誌の単価が段階的に上がっていて、出版界でも当面この状況が続くと予想されている。これまでと同じ予算額のままでは購入できる資料の数が減っていくことになるため、図書購入費は現状を維持する必要がある。 ・業務の効率化のため、ICタグを利用した蔵書点検について再検証したい。精度の良い機器があれば、システム更新にあわせて導入を進めたい。

第1次評価

第2次評価

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価	A
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性

成果	拡充	④	②	①
	現状維持	③	⑤	✓
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大

事務事業名	図書館サービス基盤整備事業	課名	図書館
-------	---------------	----	-----

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
図書館システム使用料	21,291		21,291		21,291
図書データ作成委託料	1,884		1,884		1,884
図書購入費	30,000		30,000		30,000
電子図書館協働運営事業負担金	249		249		249
その他	7,980		7,980		7,980
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	61,404	+0	61,404	+0	61,404
財源内訳					
国庫支出金 (名称)			0		0
県支出金 (名称)			0		0
地方債 (名称)			0		0
その他	1,014		1,014		1,014
一般財源	60,390	+0	60,390	+0	60,390

○ 評価指標

評価指標(単位)	アウトリーチサービスの回数				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		47			
実績値(事後評価)	173				
目標値		173	186	200	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)	図書館活用講座の実施回数				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		0			
実績値(事後評価)	1				
目標値		1	4	4	
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料を購入し資料の充実を図った一方で、情報の古い資料などの除籍を進め、情報提供基盤の整理を行った。 ・市町村と県による協働電子図書館「デジタル信州」の中学校での利用登録を行った。また、アクセシブルライブラリーの受付を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料を充実させ、市民の課題に対応するための情報提供基盤を強化し、利用につながった。 ・デジタル信州の活用範囲を広げ、館内に端末を設置するなど周知を強化することで、市民に対してより良いサービスの提供ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い市民ニーズをはじめ、多様な需要、要求に対応するための資料や情報の更なる充実が必要である。 ・R8年度の図書館システム更新に向けた準備を進める必要がある。 ・デジタル信州を広く市民に周知し、利用登録を拡大するとともに、学校での活用について検討する必要がある。

作成担当者	交流文化部	図書館	職名	係長代理	氏名	北澤 梨絵子	連絡先(内線)	4242
最終評価者	図書館長	氏名	担当係長	矢澤 昭義	氏名	図書館	氏名	小松 久美

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>デジとしょ信州については、試行した学校の状況を検証し、市内の小中学校の利用促進につながるよう一層充実を図ってほしい。また、一般向けにもう少し説明を行い、周知をお願いしたいと思う。この利用率が上がれば図書購入費を抑えられるのではないかと思う。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰で購入冊数が減少傾向にある中、「デジとしょ信州」などの新たな取り組みを強化し、市民に対してよりよいサービスの提供に努めていることを評価いたします。 ・業務効率化の推進とデジとしょ信州の利用推進を図り、図書館機能の強化を図られていると思います。 ・継続的な利用しやすい仕組みづくりの取り組みは、評価できます。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想により、各学校では通信環境が整っているので、ICT を活用した展開には、学校施設の有効活用を模索してみてもはいかがでしょうか。 ・デジタルによる利点を活かし業務の効率化を引き続き進めると同時に、本を手にとって見るという図書館だからこそその魅力をさらに伸ばしていただきたいです。 ・事業実施の際には、現状の事前把握に努め適切な事業執行をすることが必要です。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との連携を図りながら、適正な蔵書数の確保に努めてもらいたい。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・デジとしょ信州については、今後も引き続き県や市町村と連携しながら更なる周知とサービス充実に向けた取組を進めていきます。また、様々な事情により読書が困難な方にも読書環境を届けるなど、市民の読書の選択の幅を広げながら読書推進を図っていきます。学校での活用については、地域資料等の登録を進めることで、朝読書のほか授業での活用について提案していきます。 ・市民の知る権利を守るとともに、様々な課題解決に対応していくため、今後も市民ニーズの把握に努め、情報提供に必要な資料をそろえていきます。また、様々な企画を通じて本と人をつなぐ取組を実施し、多くの本に出合える機会を創出します。
-----------	---

令和6年度 事務事業評価シート(ハード事業)

○実施計画

事務事業名 目的	重伝建整備事業		文化財課	担当課	施策	3-5 継続 一般
	重伝建地区内で建築物等の工事を行う者 意図	重伝建地区内での保存と整備を行う。				
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群 保存地区修理修景	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群 保存地区修理修景	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群 保存地区修理修景			
事業費・財源	予算額 (千円) 25,555	計画額 (千円) 25,228	計画額 (千円) 25,228	25,228	25,228	25,228
	補助金 25,327 その他 228	補助金 25,000 その他 228	補助金 25,000 その他 228	補助金 25,000 その他 228	補助金 25,000 その他 228	補助金 25,000 その他 228
	特定 17,322 一般 8,233	特定 17,093 一般 8,135	特定 17,093 一般 8,135	特定 17,093 一般 8,135	特定 17,093 一般 8,135	特定 17,093 一般 8,135

○事中評価

評価視点	有効性		総合評価
	1 低い	3 やや高い	
評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い	1	3	C

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

① 他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
② 単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	✓
③ 電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	
④ コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤ 部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性				
拡充	④	②	①	
現状維持	③	⑤		
縮小	⑥			
休廃止	⑦			
	皆減	縮小	現状維持	拡大
	コスト			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・同地区の修理修景事業実施希望者は増えてきているが、従来の予算規模では対応できず、やむを得ず先の年度以降に事業実施を早送ってもらう事例が昨年度より生じている。そのため今年度は事業実施希望者を募る相談会を行わないこととした。</p> <p>・令和6年度は、奈良井で修理3件、木曾平沢で修理2件を実施している。</p>	<p>・資材・人件費等の高騰により、修理修景事業に係る工費は上昇している一方、補助上限額が少なかったため、事業者負担が大きくなる傾向にある。このため、事業実施を躊躇したり、実施したとしても十分な修理修景が行えないケースも出てきている。修理修景が停滞することで地区内の建物の老朽化や倒壊の危険性が増大し、将来的に歴史的町並みの継続が困難となり、重伝建地区としての意義・価値が失われる恐れがある。</p>	<p>・修理修景事業に対する補助上限額について、30年以上変更がされていない状況。物価上昇や人件費・資材高騰といった現状に即しているとは言えないため、R9年度より上限額の引き上げをし、積極的な保存活用の推進を図りたい。</p> <p>・R8年度に木曾平沢選定20年、R10年度に奈良井選定50年の節目を迎える。この機会をきっかけに、改めて高伝建地区の保存活用の機運を高め、歴史的町並みを守り伝えていくため、記念事業の開催を予定している(町並み保存推進事業(ソフト・行政評価対象外)に関する事項)。</p> <p>・R10年度の奈良井選定50年に向けて、伝建選定时から現在までの町並みの変遷や現状把握のための見直し調査を、R9～10年度にかけて外部調査機関に委託して実施を予定している(町並み保存推進事業(ソフト・行政評価対象外)に関する事項)。</p>

第1次査定	第2次査定
-------	-------

(千円)

○ 実施計画補正要求

年度	概要	項目(起債対象に※)	計画額	補正要求額	補正後額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後	
令和7年度	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景	補助金	25,000		25,000		25,000		25,000	
		旅費・消耗品費	224	+4	228		228		228	
						0		0		0
						0		0		0
						0		0		0
		事業費合計	25,224	+4	25,228	0	25,228	0	25,228	
		国庫支出金	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 65%	16,339		16,339		16,339		16,339
		県支出金	文化財保護事業補助金 3%	754		754		754		754
		地方債1 (地方債名)				0		0		0
		地方債2 (地方債名)				0		0		0
地方債3 (地方債名)				0		0		0		
その他 (名称)				0		0		0		
一般財源		8,131	+4	8,135	0	8,135	0	8,135		
令和8年度	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景	補助金	25,000		25,000		25,000		25,000	
		旅費・消耗品費	224	+4	228		228		228	
						0		0		0
						0		0		0
						0		0		0
		事業費合計	25,224	+4	25,228	0	25,228	0	25,228	
		国庫支出金	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 65%	16,339		16,339		16,339		16,339
		県支出金	文化財保護事業補助金 3%	754		754		754		754
		地方債1 (地方債名)				0		0		0
		地方債2 (地方債名)				0		0		0
地方債3 (地方債名)				0		0		0		
その他 (名称)				0		0		0		
一般財源		8,131	+4	8,135	0	8,135	0	8,135		

○ 事後評価

取組内容	結果・成果	課題
令和5年度は、奈良井で修理1件、木曾平沢で修理4件事業実施した。 令和6年度分は、奈良井3件、木曾平沢2件の事業実施箇所について、令和5年9月の事業実施箇所について、令和6年1月に文化庁へ国庫補助金の交付申請をした。 令和7年度以降分について、6月と11月の2回、地元住民組織との共催で相談会を開催し、事業実施希望者の取り	事業の実施により、地区内の建造物が適切に保存され、町並み全体の歴史的風致が保たれることで、住民の文化財保護意識の向上や地域への愛着、誇りの醸成が図られているほか、観光資源としても活用され、地域の振興に寄与している。 相談会の開催により、数年先までの事業予定を把握することができ、計画的に事業実施ができています。	・同地区の修理修景事業実施予算は押えてきているが、従来の予算規模では対応できず、やむを得ず先の年度以降に事業実施を見送ってもらう事例が出てきている。 ・資材・人件費等の高騰により、修理修景事業に係る工事費は上昇している一方、補助上限額が少なくなったため、事業者負担が大きくなる傾向にある。このため、事業実施を躊躇したり、実施したとしても十分な修理修景が行えないケースも出てきている。

○ 評価指標

評価指標(単位)	修理修景事業実施数		
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)	3		
実績値(事後評価)			
目標値	5	4	4
指標実績値の要因分析(事後評価)	指標実績値の要因分析(事後評価)		

作成担当者	交流文化部	文化財課	文化財係	職名	主任	氏名	氏名	氏名	連絡先(内線)	3106
最終評価者 <td>文化財課長 <td>古畑 比出夫 <td>担当係長 <td>今福大輔 <td>氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td></td></td></td>	文化財課長 <td>古畑 比出夫 <td>担当係長 <td>今福大輔 <td>氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td></td></td>	古畑 比出夫 <td>担当係長 <td>今福大輔 <td>氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td></td>	担当係長 <td>今福大輔 <td>氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td></td></td>	今福大輔 <td>氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td></td>	氏名 <td>文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td></td>	文化財係 <td>氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td></td>	氏名 <td>塩原 真樹 <td></td> <td></td> </td>	塩原 真樹 <td></td> <td></td>		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>修理修景事業に係る工事費は上昇しており、補助上限額は長年変更されていない現状から、事業希望者が事業実施を躊躇することは理解できるので、上限額の引き上げ、積極的な保存活動の推進を図りたい。整備費用が確保出来ないと進められないのが実情で、重伝建を残すか残さないかというところまで来ている状況と感じる。平沢と奈良井は中山道の宿場でも有名で国内外の観光客も多いことから、街並みを修繕し、保存することにより、更に宿場の価値が高まると思う。歴史的町並みの魅力の認知度を上げていくことも並行して考えいき、伝統と新しい発想との融合にも取り組みながら、守り続けたいと多くの市民感情が高ぶる魅力ある企画を期待します。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・30年以上変更していなかった、修理修景事業に対する補助上限額の引き上げに向けた取り組みを進めていることを評価いたします。 ・文化財保護意識の醸成により、観光資源としての魅力向上が相乗効果として表れていると思われます。 ・町並み全体の歴史的な価値が保存されていることは、地域の皆さんの協力を始め関係者の努力が大きいと思う。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額を引き上げ、修理修景を行いやすくし、歴史的町並みの保存と整備を今後も継続できることを期待します。 ・観光客の増加、とくにインバウンド需要により重伝建の魅力維持、向上は今後も求められるものだと思います。コスト増が今後も見込まれる状況ですが、市にとって必要な事業として庁内全体での再認識が求められると思います。 ・補助金の引き上げも必要と思うが、国に対しても全国伝統的建造物群保存地区協議会や関係市町村とも連携・協力し積極的に要望してほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金引き上げの際には、既設の皆さんとの合意形成に努めるとともに、節目の年に向けて、再度、市における伝建地区の位置付けを明確にすることが必要です。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者に対する補助金限度額の引き上げについては、今年度より取組を始めています。改正要綱の適用は、令和9年度を予定しています。作業にあたり、庁内調整及び伝建審議会との連携を密にして、所有者の保存意識の向上・維持に繋がる要綱を目指します。また、限度額の引上げに伴う事業費の拡大については、財政部局との調整はもとより、伝建協議会で例年行っている、国への要望活動に反映していきます。 ・修理修景事業の充実により、文化財としての価値が向上し、地域愛の醸成や地域の誇りを学ぶ身近な教材として活用され、その姿勢が魅力として広く発信することで観光資源となり、本市のブランド推進の一端を担うものと考えられます。
-----------	--

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	平出遺跡公園事業(ソフト事業)		担当課	平出博物館	施策	3-5			
目的	対象	市民、市外からの来訪者		新規/継続	継続				
	意図	5,000年人が住み続けている歴史を伝えるとともに、非日常的な憩いの場とする。		会計区分	一般				
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度						
	○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催	○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催	○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催						
事業費・財源	予算額	(千円) 10,375	計画額	(千円) 5,861	計画額	(千円) 予算対応			
	遺跡まつり実行委員会負担金	950	遺跡まつり実行委員会負担金	950					
	光熱水費	1,305	光熱水費	1,305					
	その他	2,408	その他	3,606					
人件費(会計年度任用職員)	5,712	人件費(会計年度任用職員)	人件費(会計年度任用職員)						
特定	300	一般	10,075	特定	300	一般	5,561	特定	一般

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> 観光業が活性化し、都市圏発着のバスツアーの目的地に組み込まれるようになってきている。遺跡公園滞在時の満足度を向上させるため、周辺環境整備の徹底とホスピタリティをもった対応に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光管の製造中止が予定されているため、ガイダンス棟の照明設備のLED化を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡公園の認知度が向上し、イベント開催数も増加傾向にあるが、協力いただいているボランティア団体のスタッフは高齢化が進んでいるため、新たなボランティアスタッフの募集や養成に取り組み必要がある。

第1次評価

第2次評価

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価	B
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	✓
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性

成果	拡充	④	②	①
	現状維持	③	⑤	✓
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大

事務事業名	平出遺跡公園事業(ソフト事業)	課名	平出博物館
-------	-----------------	----	-------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
遺跡まつり実行委員会負担金	950		950		950
光熱水費	1,305		1,305		1,305
その他	3,606		3,606		3,606
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	5,861	+0	5,861	+0	5,861
財源内訳					
国庫支出金 (名称)			0		0
県支出金 (名称)			0		0
地方債 (名称)			0		0
その他	300		300		300
一般財源	5,561	+0	5,561	+0	5,561

○ 評価指標

評価指標(単位)	来園者数(人)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		30,605			
実績値(事後評価)	43,636				
目標値		38,000	39,000	40,000	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)					
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・火起こしや勾玉づくりなどの常設の体験学習のほか、松ぼっくりリリーづくり等季節にあわせた体験も実施した。 ・コロナ禍で開催を見送ってきた遺跡まつりを4年ぶりに開催した。 ・風害により破損した復元住居(J-56号)を緊急で修復した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらいで遺跡まつりには4,000人を超える多くの家族連れが参加し、遺跡公園や博物館周辺を学が良いい機会となった。 ・ライトアップイベントやワイナリーフェスタには市内外から多くの来訪者があり、平出遺跡の認知度向上を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後予定されている復元住居の大規模改修は個別施設計画に基づき年次的に実施していくが、劣化状況によっては実施順を入れ替えるなどの対応が求められる。

作成担当者	交流文化部	平出博物館	氏名	連絡先(内線)
最終評価者	平出博物館館長	小松 学	氏名	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>遺跡公園においては、年間を通して大変よく利用されており、魅力的なイベントも多く、多目的で利用されていることによって、遺跡公園としての良さも多くの市民に知ってもらえていると感じる。ライトアップイベントは幻想的な空間が演出され、国史跡と非日常的な空間が、シンプルに癒しと感じられ、遺跡公園の魅力につながったと感じた。子どもを含め一層市民が活用できる魅力的な場にしていきたい。駐車場の課題は、足運びの懸念材料となるため、解決に向けてできる限り取り組んで頂けると有難い。一方で、大規模改修等の財源問題は大きい。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境整備の徹底やホスピタリティをもった対応など努力を重ね、10月現在ですでに目標値を超えるほどにぎわっていることを評価いたします。 ・さまざまなイベント等により、全世代に対する当該施設の認知度向上、魅力発信に精力的に取り組まれていると思われま。 ・地道な努力により、いろいろなものとのコラボにより広く認知されてきた点は評価できます。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡公園の認知度はこれからますます増加すると思われるため、ボランティア団体の活動など持続可能なものにしていく運営を期待します。 ・地域に根づいた愛着を感じる資源としてあるために、ボランティアや地域住民とのさらなる関係の構築が求められると思います。 ・将来に向けての遺跡のファンを増やすことが求められるので、ボランティアに対するインセンティブを与えることにより、協力者を増やす方策は考えられないか。例えば、平出博物館を始め、市内各施設の年間無料パスポート配布や遺跡公園でのイベントでの優先枠の確保など。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に認知度が向上してきたことから、来園者をリピーターにするためにも、受け入れ環境（トイレ等の施設）整備に万全を期すことが求められる。今後、新平出博物館建設計画も予定されているようなので、遺跡も含め一体的な施設整備が望まれる。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・平出遺跡公園の利活用を一層促進させるため、今後も官民連携した様々なイベント等を開催します。また、イベント開催にあたり協力いただいているボランティア団体の高齢化に伴う実働人員の減少については、新規会員の募集や博物館施設の無料パスポート配布といったインセンティブについても検討を行い、持続可能な組織運営に努めます。 ・遺跡公園の環境整備については、経年劣化により破損がみられる復元住居の修理事業を計画的に行い、復元建物の安全性の確保や歴史的景観の適切な維持に努め、古代を体感できる魅力ある遺跡公園を目指します。
-----------	---

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	市民交流センター交流企画事業		
対象	市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者	担当課	市民交流センター
目的	新しい人々や多くの人々が絶えず行きかう場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。	新規/継続	6-1 継続
意図	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別事業内容(手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施	○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施	○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施 ○予約システムの更新
事業費・財源	予算額 (千円) 18,843	計画額 (千円) 6,156	(千円) 予算対応
	IT講座運営事業委託料 1,095 市民営提案事業(交流企画) 1,428 1,951 その他	IT講座運営事業委託料 1,611 市民営提案事業(交流企画) 1,439 320 子育て支援・青少年交流事業 640 その他 2,146	人件費(会計年度任用職員) 5,736 特定 420 一般

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価 C
	有効性	2	やや低い	
	効率性	4	高い	
評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い				
【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる				
①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能			
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している			
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある			
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある			
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能			

今後の方向性					
成果	拡充	④	②	①	
	現状維持	③	⑤		✓
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
コスト		皆減	縮小	現状維持	拡大

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>今年度はなるべく改修工事期間中のため制限はあるが、子ども向けの講座や事業のみでなく、年齢層問わず、青少年世代やシニア世代等も集い、多世代間での交流や発信を行う場となるような事業を新たに企画している。</p> <p>施設の予約管理が複雑化しているため、令和8年度の予約システム更新に向け、窓口担当職員を中心に検討会の場を設けて、運用について精査している。現行の施設予約システム上で運用上問題がある箇所について、ベンダーへ修正依頼を行った。</p> <p>「管理運営方針」の改定については、企画課と協議中である。</p>	<p>子育て支援・青少年交流の一環として開催していたイベント【ちびてつ】および【tent】の監修者が急遽不在となったため、一旦イベントが中止となった。イベント継続を切望する保護者や参加者のために、これらのイベントの在り方や運営内容をリニューアルし再構築することを目的に、外部講師を迎え、企画運営の主体である大学生チームと話し合いを重ねている。</p> <p>また、支払方法についても、これまではイベント開催ごとに講師謝礼として支払を行ってきたが、実態に基づいた内容での運営が必要であることが判明した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援・青少年交流の【ちびてつ】および【tent】の支払い方法について、講師謝礼ではなく「負担金」へ変更するべく財政課および総務人事課と協議している。そのうえで、実際にかかっている実費分や新たに迎える外部講師の謝礼分を増額する必要がある。 貸館業務について、オンライン決済を希望する利用者が増えている。また、窓口業務において、壁柱・市民サロンの予約管理の電子システム化の余地がある。ともに、予約システム更新の際には、デジタル化且つ効率化を踏まえた構築が必要である。

第1次評価

第2次評価

事務事業名	市民交流センター交流企画事業	課名	市民交流センター
-------	----------------	----	----------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
IT講座運営事業委託料	1,611		1,611		1,611
市民営提案事業(交流企画)	1,439		1,439		1,439
中心市街地活性化事業	320		320		320
子育て支援・青少年交流事業	640		640		640
その他	2,146		2,146		2,146
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	6,156	+0	6,156	+0	6,156
財源内訳					
国庫支出金(名称)			0		0
県支出金(名称)			0		0
地方債(名称)			0		0
その他	420		420		420
一般財源	5,736	+0	5,736	+0	5,736

○ 評価指標

評価指標(単位)	貸館利用者人数(人)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		17,799			
実績値(事後評価)	55,734				
目標値		58,000	60,000	60,000	60,000
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)	講座等参加者満足度(%)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		98.4			
実績値(事後評価)	98.7				
目標値		99.0	99.0	99.0	99.0
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・施設機能(ICTルーム)を活用し、暮らしや仕事に役立つ「ばそこん基礎講座」を19講座実施した。</p> <p>・子育て支援やビジネス支援、青少年交流など、多様な内容による講座や講演会を実施し、五つの重点分野を融合した事業を12事業27回開催した。</p> <p>・市民営提案事業による交流企画事業子どもだけの街「こどもおじり」を、前年度を上回る138人の参加者を迎え開催した。</p> <p>・センターの貸館業務や証明書交付を行い、丁寧な窓口対応を心掛けた。</p>	<p>・新規事業として、2つのイベント【えんぱーく de CAMP、段ボール迷路】を実施し、市街地の活性化や青少年の交流に寄与することができた。</p> <p>・事業全体では、年間延べ3,658人の参加者を迎え、学びや交流を通じた新たな知恵の創造につなげることができた。</p> <p>・壁柱利用促進事業として、3名の作家の絵画展を行い、アートに興味を持ってもらう機会やえんぱーくに足を運んでいただくきっかけ作りとした。また、壁柱を利用できることの周知にもなり、一般利用者の絵画展の開催にもつながった。</p>	<p>・子育て世代への応援事業、子ども向けの講座や事業を引き続き実施していくとともに、年齢層問わず、青少年世代やシニア世代等も集い、交流や発信を行う場となるような事業を更に企画していく必要がある。</p> <p>・施設の予約管理が複雑化しているため、令和7年度の公共施設予約システム契約更新に向けた検討や、壁柱・市民サロンの予約管理の電子システム化に向けた検討を行う必要がある。</p>

作成担当者	交流文化部	市民交流センター	職名	主任	氏名	塩原 理奈	連絡先(内線)	4221
最終評価者	市民交流センター長	氏名	担当係長	矢澤 昭義	市民活動支援係	氏名	上條 さやか	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>集中して学習できる空間や、展示物も興味関心が持てるように工夫されていると感じる。貸館の予約や支払い方法は、オンライン化は双方にとって効率化になると思う。「ちびてつ」と「tent」が急遽中止になったことは、内容的には価値あるものであっただけに、誠に残念である。市民交流センターは、幅広い年齢層の多くの市民に利用されている。今後は、大規模改修を終え、更に環境が良くなるので、高齢者も訪れやすい講座等が、盛んに行われるように期待します。また、講座等の開催の案内が、広く一般市民に伝わる様工夫をお願いしたいと思います。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・えんぱ一く改修工事期間中の制限のある中、新しい人々や多くの人々が絶えず行きかう場の創出という目的を達成しており、高く評価いたします。 ・ちびてつ等特徴的なイベント中止という不測の事態にも、参加者のニーズに応えるべく適切に対応されていると思われます。 ・施設の有効活用により利用促進につながっている点は評価できます。施設を運営しやすい（利用者にとっても利用しやすい）方法を時代に合わせて変化させることは必要だと思います。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中などで、今年度、中止になった事業もありますので、スムーズな復活を期待します。また、今後も重点分野を生かした融合事業を行うことで、様々な活性化に寄与していくことを期待します。 ・企画イベントであれ貸館であれ、参加しやすさと利用しやすさ、そして参加・利用による満足度が何より重要かと思ひます。市民・団体・事業者等のニーズを定期的に拾い上げ、対応していくことが求められると思われます。 ・人気のあるイベントが年度途中で不測の事態になることもあることからいままでの蓄積された知恵と知識により、スタッフの育成強化を図ることも大事。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している事業自体は有意義なものなので、事前に不測の事態に対応する方策を考えておく準備が必要だと思います。（難しいことだと思いますが）

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館予約や支払方法について、予約時の事前決済の導入など、利用者の利便性、効率化を図るため、令和8年度のシステム更新に向けた研究、検討を行います。 ・1月下旬の施設の再開、2月1日・2日に実施予定の開館を記念したイベント等、利用者の新たな居場所としての価値提供を図るため、準備を進めます。 ・イベント等の不測の事態を想定し、参加者の混乱を招かぬような対策を強化します。 ・ちびてつ参加者や保護者の声を反映、その趣旨を継承した新事業を、信州大学生協力のもと12月から再開し、市内の子どもたちの育成に尽力します。 ・重点分野を生かした融合事業の実施、多世代間交流、中心市街地活性化の核となる事業を実施するとともに、事業の検証及び利用者の声を反映した事業を多く展開します。
------------------	---

こども教育部 第1期中期戦略体系別 対象事業一覧

目指す都市像	基本戦略	戦略分野・施策	中期戦略に紐づく事務事業(○自己点検評価対象事業)		
			重点化する事務事業	担当課	評価
多彩な暮らし、叶えるまち。 —田園都市しおじりー	A 未来共育	戦略分野1 パートナーシップ・子育て 施策1-3 子育て家庭が地域で支えられ、育児などの支援をいつでも受けられる	子育て支援センター事業 こども広場事業 ファミリーサポートセンター事業	保育課 保育課 保育課	○
		施策1-4 ライフスタイルに合う預け先があることで、 家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる	保育園大規模修繕事業 保育園遊戯室空調設備設置事業 民間保育所支援事業 保育所運営費 育児支援推進事業 保育補助員設置事業 給食運営費 にぎやか家庭応援事業 私立幼稚園支援補助金	教育施設課 教育施設課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課	○
		施策1-5 子ども・家庭へのきめ細やかな相談・支援がある	児童扶養手当支給事業 ひとり親家庭福祉推進事業 家庭支援推進事業 こどもの未来応援事業 元気っ子応援事業 若者サポート事業	こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課	○
		戦略分野2 学校教育・学びの環境 施策2-1 「考える」「対話する」「共感する」「触れる」「活用する」 体験を通して深い学びができる	教育再生推進事業 教育DX推進事業 小学校英語教育推進事業 特色ある教育活動事業(小中学校) 教育振興諸経費(小中学校) ICT活用教育推進事業(小中学校)	学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	○
		施策2-2 企業との連携による「働く」と「学び」の接続や、 保護者、学校外での連携による地域全体の協力がある	地域連携教育推進事業 探求型キャリア教育推進事業	学校教育課 学校教育課	
		施策2-3 心身の成長を支える安全安心な学校環境がある	教職員住宅廃止事業 貯水設備改善事業(小学校) トイレ改修事業(小学校) 消防施設等改善事業(小中学校) 給食運営事業諸経費(小中学校) 学校給食レシピ公開事業	教育施設課 教育施設課 教育施設課 教育施設課 学校教育課 学校教育課	
		施策2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	児童館大規模修繕事業 児童館遊戯室空調設備設置事業 児童館・児童クラブ運営費 放課後キッズクラブ運営費 部活動地域移行推進事業	教育施設課 教育施設課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	
		施策2-5 きめ細やかな支援による平等な学習機会が提供される	まなびサポート事業 教育相談支援事業 高等学校等振興事業 奨学資金貸与事業 教育振興扶助費(小中学校)	こども未来課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	○
		戦略分野3 伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習			
		B 共創循環	戦略分野4 地域経済・産業・観光・就労 戦略分野5 環境・気候 戦略分野6 協働参画・連携・行政運営		
C 安心共生	戦略分野7 地域社会・支え合い 戦略分野8 医療・介護・保健・福祉 施策8-3 介護・福祉・医療を担う人材や組織が安定し、サービスの選択肢がある 戦略分野9 まちづくり・インフラ・防災	奨学資金貸与事業(医学生奨学)	学校教育課		

部重点方針

方針1 保育園、子育て支援施設等を利用しやすい環境の整備

- 多子世帯の保育料負担の軽減と家庭で保育する世帯への支援の充実
- 子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の提供

方針2 子ども・子育て家庭へのきめ細やかな相談支援の充実

- こども計画の策定による子どもの貧困対策及び若者支援の推進
- こども家庭センターを中心とした、様々な困難を抱える子ども、子育て家庭の相談支援の充実
- 子どもの成長・発達を応援する相談支援の充実

方針3 「ワクワク」するような様々な学習や活動機会の提供

- GIGAスクール運営センターを核としたICT活用教育推進体制の強化による情報活用能力の育成
- コミュニティ・スクールによる地域に開かれた学習活動の充実と産官学民が一体となったキャリア教育の推進
- 部活動の地域移行・地域連携の推進

方針4 きめ細やかな支援による平等な学習機会の提供

- 不登校児童生徒や保護者への支援策の推進
- 奨学資金貸与や就学援助費の支給等による就学支援の充実
- 個々の特性に合わせた特別支援教育の推進

主要一般事業

児童福祉施設費	こども未来課
家庭支援推進事務諸経費	こども未来課
教育委員会諸経費	学校教育課
教育委員会事務局諸経費	学校教育課
スクールバス運行費	学校教育課
結核対策事業	学校教育課
給食公会計事務諸経費	学校教育課
教職員住宅管理諸経費	教育施設課
教育施設集中管理事業	教育施設課
小学校管理諸経費	学校教育課
小学校施設改善事業	教育施設課
中学校管理諸経費	学校教育課
中学校施設改善事業	教育施設課
放課後児童教室運営諸経費	学校教育課
児童福祉事務諸経費	保育課
保育所施設改善事業	教育施設課
児童福祉施設防犯対策事業	教育施設課
子ども・子育て会議運営事業	保育課
児童館・児童クラブ施設改善事業	教育施設課

方針1: 保育園、子育て支援施設等を利用しやすい環境の整備

多子世帯の保育料負担の軽減と家庭で保育する世帯への支援の充実
 子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の提供

1	No.	施策 1-3 子育て家庭が地域で支えられ、育児などの支援をいつでも受けられる	施策の目指す方向性	・親子で出かけられる場所があり、親同士の交流や子ども同士が遊び、親の心配事の相談などが自然に行われています。 ・父親の育児・家事参画や祖父母の育児協力が進み、子育て中の同じ境遇の仲間とつながることで、特定の家族に子育ての負担が集中したり、孤立することが減っています。 ・行政が行う保育サービスに加えて、住民有志・ボランティアによる子どもの見守りや預かり、交流の機会があり、地域で子育てへの支えが広がっています。
				概要
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	子育て支援センター事業	保育課 子育て支援センター	・子育て支援センター、北部子育て支援センターの運営を行い、3歳児までの子育てをする家庭に対して、安心して遊べる場所の提供、育児に関する講座の開催及び育児相談を実施し、子育てを支援します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・就労している母親や父親も参加しやすいように週末開催する育児講座を増やしていきます。(年度内) ・父親に子育て支援センターの利用や講座の参加を促進させるために、講座、相談等の情報を周知する父親向けのチラシを作成したり、ホームページやSNSの発信を行います。(上半期までに) ・障がいや医療的ケアを持つ親子にも利用できるよう多様な運営を行っていきます。(年度内) ・保護者の育児サポートを充実するため、子育て支援センターで行うファミリーサポートでの預かりの周知を積極的に行い、利用者を増やしていきます。(年度内)	
	上記に記載したもの以外の事務事業			
	こども広場事業	ファミリーサポートセンター事業		
2	No.	施策 1-4 ライフスタイルに合う預け先があることで、家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる	施策の目指す方向性	・公立や民間、認可外の保育施設、幼稚園などが連携して、親の就労状況やニーズに応じた保育サービスが提供されていることで、乳幼児や未就学児のいる家庭が仕事と子育てを両立できています。 ・保育園等を利用しやすい環境が整備されていることにより、安心して出産・子育てができる見通しを持つことができます。 ・一時的保育、病児・病後児保育など必要な時に安心できる預け先があることで、それぞれのライフスタイルに合った生活を送りながら、家庭で子どもと過ごす時間が充実できています。
				概要
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	保育園大規模修繕事業	教育施設課	老朽化している妙義保育園について、外部防水改修、給食室改修、トイレ改修、遊戯室空調設備設置、ほふく室床暖房設備設置、照明器具LED化等を実施し、施設の延命及び園児の保育環境の向上を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・園の夏休みを含めた8月9日から25日までに、給食室及びトイレ改修を完了し、運営に支障が出る期間を最低限にします。 ・園を運営しながらの工事のため、安全性を最優先に工事を実施する必要があります。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	保育園遊戯室空調設備設置事業	教育施設課	夏場の猛暑対策及び動的活動の確保に向けて、保育園の遊戯室に空調設備設置することにより、園児の保育環境の向上を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・7月までに実施設計を終了し、令和7年3月までに設置工事を完了します。 ・工事費が概算工事費になっているため、実施設計後に補正対応をする可能性があります。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
民間保育所支援事業	保育課保育企画係	私立保育所等に対する運営費補助、延長保育や障がい児受入れに対する事業補助を行うことで、運営の安定化や保育の質の向上を図ります。令和6年度は、0歳児から2歳児までの保育料等完全無償化に向けて、経済的な負担の多い多子世帯の支援に取り組みます。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・第2子以降保育料等の無償化による効果や影響の検証等を行い、年度内に完全無償化に向けた方針案を策定します。 ・11月末までに令和8年度以降の3歳未満児の受け皿確保に向けた地域型保育施設整備について方針を検討(予算編成時に提案)します。 ・国・市の無償化制度に伴う給付や補助を的確に行うことで、民間保育所等の安定的な運営を支援するとともに制度を確立します。		

方針1: 保育園、子育て支援施設等を利用しやすい環境の整備

多子世帯の保育料負担の軽減と家庭で保育する世帯への支援の充実
 子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の提供

当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要
保育所運営費	保育課保育園運営係 保育課保育企画係	市内公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れるとともに、地域子育ての拠点として一時的保育事業等を実施します。令和6年度は、一時的保育事業を拡充し、家庭で子ども保育する世帯の支援に取り組みます。	
		<p align="center">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2子以降保育料等の無償化に伴う入園者の増加に伴い、より保育の必要性の高い児童が入園できるよう要件等の見直しを行います。 ・一時的保育無料クーポン及び出張一時的保育については利用率の増加に向けた周知等を行うとともに8月末までにニーズ等を把握し、次年度以降の方針を検討(行政評価時に提案)します。 ・6月末までに保育士の確保に向けた新たな取組みを開始します。また、8月末までに保育士の業務負担軽減と保育の質の向上を図るための取組みを検討(行政評価時に提案)します。 	
上記に記載したもの以外の事務事業			
保育所施設改善事業	児童福祉施設防犯対策事業	育児支援推進事業	保育補助員設置事業
給食運営費	にぎやか家庭応援事業	私立幼稚園支援補助金	子ども・子育て会議運営事業
No.	施策	施策の目指す方向性	
	施策2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。 ・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。 ・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんで、心身や技術を鍛える機会が揃っています。 	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
3	児童館大規模修繕事業	教育施設課	旧耐震基準の建物であり、老朽化している宗賀児童館について、宗賀小学校の余裕教室に移転整備し、現児童館を解体し、駐車場に整備することにより、施設の総量縮減及び児童の生活環境の向上を図ります。
			<p align="center">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室移転先への空調設備設置を6月中に実施し、夏場の授業に支障が無いようにします。 ・学校を運営しながらの工事のため、安全性を最優先に工事を実施する必要があります。 ・駐車場整備中の駐車場確保が課題のため、宗賀支所に協力していただく必要があります。
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
3	児童館遊戯室空調設備設置事業	教育施設課	夏場の猛暑対策及び動的活動の確保に向けて、児童館の遊戯室に空調設備設置することにより、児童等の生活環境の向上を図ります。
			<p align="center">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月までに実施設計を終了し、令和7年3月までに設置工事を完了します。 ・工事が概算工事費になっているため、実施設計後に補正対応をする可能性があります。
上記に記載したもの以外の事務事業			
児童館・児童クラブ施設改善事業			

方針2: 子ども・子育て家庭へのきめ細かな相談支援の充実

こども計画の策定による子どもの貧困対策及び若者支援の推進
 こども家庭センターを中心とした、様々な困難を抱える子ども、子育て家庭の相談支援の充実
 子どもの成長・発達を応援する相談支援の充実

No.	施策	1-5 子ども・家庭へのきめ細かな相談・支援がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の養育環境を整えるため、経済的支援、子育ての支援、生活の支援、保護者の就労支援等適切な支援がされています。 ・成長段階に応じた学習等の支援、多様な経験や居場所の提供により、子どもの「学び」と「経験」を保障され、未来を切り拓く力が育まれています。 ・相談体制・関係機関の連携体制・情報発信の充実により、切れ目のないきめ細かな支援がされています。 	
1	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要	
	こどもの未来応援事業	こども未来課・こども未来応援係	すべての子どもが夢や希望を持って成長できるよう、子どもの貧困対策に重点的に取り組むとともに、地域等とのネットワークの構築により、子どもの居場所づくりを推進します。	当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・子ども・若者に関する施策を総合的にまとめた「こども計画」を策定し、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指します。 ・子どもの居場所を増やすため、地域等とのネットワークを充実させるとともに、補助金等により活動を支援します。	
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要	
	家庭支援推進事業	こども未来課・こども家庭相談係	様々な事情により、支援が必要な児童・家庭に対して関係機関と連携し、相談・支援を行うとともに、児童虐待への対応及び予防を行います。	当年度取り組む課題と達成すべき目標 こども家庭センターを設置し、こども家庭センター同士の連携を更に進めるシステムを構築するとともに、子ども・保護者等へのサポートプランを作成し、支援の充実を図ります。	
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要	
	元気っ子応援事業	こども未来課・元気っ子・若者サポート係	子ども達が、それぞれの個性や特性を大切にしながら、持っている力を十分発揮できるよう、元気っ子相談、フォローアップ訪問等を行い、切れ目のない相談支援体制を構築します。	当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・小学校入学後に途切れやすくなる保護者との相談の機会を増やすため、1学期に1回メールを配信し、相談ニーズに応じていく。 ・相談の質の向上を目的に、相談員の研修の機会を年5回開催します。	
	上記に記載したもの以外の事務事業				
	児童扶養手当支給事業	ひとり親家庭福祉推進事業	児童福祉施設費	若者サポート事業	
	児童福祉施設費	家庭支援推進事務諸経費			

方針3: 「ワクワク」するような様々な学習や活動機会の提供

GIGAスクール運営センターを核としたICT活用教育推進体制の強化による情報活用能力の育成
 コミュニティ・スクールによる地域に開かれた学習活動の充実と産官学民が一体となったキャリア教育の推進
 部活動の地域移行・地域連携の推進

1	施策 施策2-1「考える」「対話する」「共感する」「触れる」「活用する」体験を通して深い学びができる	施策の目指す方向性 ・デジタル技術が進み、情報があふれる社会の中で、自分の感性をもとに選択を始め、他者との対話を通じて自分なりの考えを整理し、課題に取り組み基礎的な学力の定着に繋がっています。 ・子どもたちの知的好奇心や興味・関心を喚起させる「ワクワク」するような様々な学習機会が提供されることで、自己の主体性を軸にした、主体的に考え探求する学びが実践されています。 ・学校の働き方改革が進み、校務が効率化され、教職員が子どもたちと向き合う時間や課題に寄り添う時間が確保されています。				
			当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	教育DX推進事業	学校教育課・児童生徒支援係	GIGAスクール環境を管理運営するほか、GIGAスクール運営支援センターと連携した後方支援などにより、教職員がICT活用教育に注力できる環境を整備します。			
	当年度取り組む課題と達成すべき目標					
	通信環境が不安定な教室等があるといったハード面の課題や、学級・学校間の活用格差があるといったソフト面の課題が山積している。R6はネットワークアセスメントにより通信安定策を検討するほか、信大名誉教授のアドバイスによるICT活用・授業改善を推進します。					
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
	教育再生推進事業	学校教育課・児童生徒支援係	学校教育の充実及び振興を図るため、教育センターが教育長の職務補佐、調査・研究、学校又は職員への指導・助言・支援・研修などを行うほか、教育委員会からの諮問事項に関する業務を行います。			
	当年度取り組む課題と達成すべき目標					
	学校教育の諸課題が複雑化し教職員の負担が増大している。当年度は、指導主事3名を積極的に学校へ派遣し困り感の強い教員や学級を直接支援することなどにより、授業改善、学級崩壊の未然防止などを図ります。					
	上記に記載したもの以外の事務事業					
小学校英語教育推進事業	特色ある教育活動事業(小中学校)	教育振興諸経費(小中学校)	ICT活用教育推進事業(小中学校)			
教育委員会諸経費	教育委員会事務局諸経費					
2	施策 施策2-2 企業との連携による「働く」と「学び」の接続や、保護者、学校外での連携による地域全体の協力がある	施策の目指す方向性 ・学校・家庭・企業・地域が連携して、学校内だけではできない学びをつくることで、子どもたちが、多様な大人の知識や知恵・生き方・独自の経験などに触れ、学ぶ意味や自らの将来のことを考える経験を積んでいます。 ・子どもの教育・育成について保護者や住民が関心を持ち、学校運営に参画するコミュニティ・スクールの活動が定着することで、地域ごとに個性のある行事や学習活動が展開されています。				
			当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	地域連携教育推進事業	教育企画係	学校教育課に配置している地域連携コーディネーターと中学校区に1名ずつ配置している学校支援コーディネーターが連携し、各校のコミュニティ・スクール活動を推進していきます。			
	当年度取り組む課題と達成すべき目標					
	今年度から地域との連絡を円滑にするため学校支援コーディネーターに公用のスマートフォンを配布した。ライン等の連絡ツールの活用等を研究しながら、これまで以上に地域との意思疎通を図ります。					
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要			
	探求型キャリア教育推進事業	教育企画係	社会の中で自立して生きていくために必要な資質・能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)の育成をするため、産官学民が一体となったキャリア教育を推進します。			
	当年度取り組む課題と達成すべき目標					
	企業と連携したキャリア教育は、これまで学校が企業に提案及びお願いをし、教員が企業との調整等を行う必要があったため、その負担の大きさから実現しにくい課題があった。そこで学校と企業をつなげる共創共学プラットフォームを組織し、学校が企業と連携したキャリア教育を進めるための支援を行います。					
	上記に記載したもの以外の事務事業					

方針3: 「ワクワク」するような様々な学習や活動機会の提供

GIGAスクール運営センターを核としたICT活用教育推進体制の強化による情報活用能力の育成
 コミュニティ・スクールによる地域に開かれた学習活動の充実と産官学民が一体となったキャリア教育の推進
 部活動の地域移行・地域連携の推進

3	No. 施策 施策2-3 心身の成長を支える安全安心な学校環境がある	施策の目指す方向性 ・本市の大事にしてきた小中学校における自校給食と地元食材の積極的な使用により、食を通じた子どもたちの身体の発達、食育を通じた心の成長、良好な生活習慣の定着などが図られています。 ・老朽化や教育環境の変化に対応した長寿化改良を行うことで、学校施設の快適性と安全性が保たれ、子どもたちの心身の成長を支えています。学校が地域の防災拠点としても機能するよう、防災・減災のための備品・装備や緊急時の体制が、平時からしっかりと整備されています。	概要 ・本市の大事にしてきた小中学校における自校給食と地元食材の積極的な使用により、食を通じた子どもたちの身体の発達、食育を通じた心の成長、良好な生活習慣の定着などが図られています。 ・老朽化や教育環境の変化に対応した長寿化改良を行うことで、学校施設の快適性と安全性が保たれ、子どもたちの心身の成長を支えています。学校が地域の防災拠点としても機能するよう、防災・減災のための備品・装備や緊急時の体制が、平時からしっかりと整備されています。		
			当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)	担当課・係 学校教育課・学校運営係	概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	当年度重点化する事務事業 給食運営事業諸経費(小中学校)		担当課・係 学校教育課・学校運営係		概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	上記に記載したもの以外の事務事業				概要 安全安心でおいしい給食を提供し、児童生徒の心身の成長を支援するとともに、地産地消、食育の推進を図ります。
	スクールバス運行費		小学校管理諸経費	中学校管理諸経費	給食公会計事務諸経費
学校給食レシピ公開事業		教職員住宅廃止事業	貯水設備改善事業(小学校)	教職員住宅管理諸経費	
教育施設集中管理事業		小学校施設改善事業	中学校施設改善事業		
4	No. 施策 施策2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	施策の目指す方向性 ・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。 ・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。 ・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんで、心身や技術を鍛える機会が揃っています。	概要 ・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。 ・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。 ・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんで、心身や技術を鍛える機会が揃っています。		
			当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業	担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係	概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	当年度重点化する事務事業 部活動地域移行推進事業		担当課・係 学校教育課・児童生徒支援係		概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	関係者が部活動に対して多種多様な強い思いをもっており、ウェルビーイングな地域移行をするためには丁寧な議論が必要不可欠。R6は学校毎に「スポーツ・文化芸術活動運営委員会」を、種目毎に「種目別地域移行検討会」を開催し各論を進めるほか、「塩尻市中学校部活動地域移行等協議会」で全市的な課題等を検討します。				概要 中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。
	放課後キッズクラブ運営費		放課後児童教室運営諸経費		

方針4: きめ細かな支援による平等な学習機会の提供

不登校児童生徒や保護者への支援策の推進
 奨学金貸与や就学援助費の支給等による就学支援の充実
 個々の特性に合わせた特別支援教育の推進

No.	1	施策 施策2-5 きめ細やかな支援による平等な学習機会が提供される 施策8-3 介護・福祉・医療を担う人材や組織が安定し、サービスの選択肢がある		施策の目指す方向性 ・家庭環境や個性によらず、すべての子どもが持てる能力を生かして、自分らしく過ごし学ぶ機会が提供されています。 ・家庭や学校において、心や体調の変化に早期に気付くことができ、相談先にもすぐにつながる体制が構築されています。 ・子ども達が経済的な不安を覚え、進学や学びを選択できる支援が用意されています。 ・医療・介護・福祉施設の経営努力と行政による支援により、医療・介護・福祉機関で働く人材が確保されています。	
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
		教育相談支援事業	学校教育課・児童生徒支援係	子どもたちが「らしく学び、らしく生きる」ことができるよう、一人ひとりの育ちに丁寧に寄り添いながら、将来の社会的自立に向けた相談・支援を行い、不登校・引きこもり・自殺などの未然防止を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 不登校児童生徒数が増加し、支援ニーズが多様化している。教育支援センターが中心となり、校内教育支援センターの設置促進、民間施設との連携などにより支援体制を強化する。また、長野県と連携し、匿名相談アプリの実証を通して早期発見・早期支援に向けたモデル構築を進めます。	
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
				当年度取り組む課題と達成すべき目標	
		上記に記載したもの以外の事務事業			
		まなびサポート事業	教育振興扶助費(小中学校)	奨学金貸与事業	高等学校等振興事業
		奨学金貸与事業(医学生奨学)			

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	子ども広場事業	担当課	保育課	施策	1-3
目的	対象 0歳から6歳の子ども(未就学児)		新規/継続	継続	
	意図 親子が触れ合いながら自由に遊び、交流する場の提供		会計区分	一般	
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出	○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出	○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出		
事業費・財源	予算額 (千円)	計画額 (千円)	計画額 (千円)	予算対応	
	駐車場使用料 施設管理負担金 その他	1,226 30,312 965	32,871 1,226 30,312 318 1,015		
	人件費(会計年度任用職員)	9,007	人件費(会計年度任用職員)	人件費(会計年度任用職員)	
	特定 7,492 一般	特定 1,200 一般	特定 31,671 一般	一般	

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価	C
	有効性	3	やや高い		
	効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	✓
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性					
成果	拡充	④	②	①	✓
	現状維持	③	⑤		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大	

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> ・怪我等の防止のため、安全に楽しく利用してもらうように職員による見回りや声掛けを丁寧に行った。 ・昨年度、検査で不備が指摘されたトイレ用チャイルドシートの固定改修や木育ハウスの底面のメンテナンスを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の軽微なメンテナンスが必要な箇所が増加している。 ・開館以来人気の遊具であるソフトミラプレートが経年劣化してきており、幼児が怪我や破片を口に入れて誤飲する恐れが出てきており安心して遊べない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具(ソフトミラプレート)を買い替えるための予算が必要。 ・マンネリ化しているイベント等を見直し、より親子が楽しめる施設にしていこう。

第1次評価

第2次評価

事務事業名	子ども広場事業	課名	保育課
-------	---------	----	-----

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
駐車場使用料	1,226		1,226		1,226
備品購入費	318		318		318
施設管理負担金	30,312		30,312		30,312
その他	1,015		1,015		1,015
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	32,871	+0	32,871	+0	32,871
財源内訳					
国庫支出金 (重層的支援体制整備事業交付金)			0		0
県支出金 (重層的支援体制整備事業交付金)			0		0
地方債			0		0
その他 (子ども広場利用登録料)	1,200		1,200		1,200
一般財源	31,671	+0	31,671	+0	31,671

○ 評価指標

評価指標(単位)	子ども広場利用者数(人)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		16,854			
実績値(事後評価)	44,791				
目標値		45,000	46,000	47,000	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)					
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・未就学児の親子を対象に、安心して遊べる屋内公園型施設を運営し、親子が楽しめるイベントや講座を開催した。</p> <p>・ベビーキープ(乳幼児用椅子)、ベビースhirt(おむつ交換台)、大型遊具に対し業者による安全点検を実施し、安全に遊べる環境を整備した。</p>	<p>・天候にかかわらず親子で遊べる広い施設として、市内外から多くの利用があり、利用者数は令和4年度から約1.08倍増加した。</p>	<p>・子育て中の親子にとってさらに魅力のある施設になるように、遊具や施設内の環境、開催する講座の内容等を検討していく必要がある。</p>

作成担当者	子ども教育部	保育課	子育て支援センター	職名	所長	氏名	長岡 春美	連絡先(内線)	5548
最終評価者	保育課長	氏名	塩原 清彦	担当係長	子育て支援センター	氏名	長岡 春美		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	天候に左右されることがない遊び場なので、更なる利便性を望む。遊具等は、常に点検を行い、劣化による遊具などは早期に変えるとともに、時代に即したものに順次更新をお願いしたい。未就学児とその親の交流の場として、すっかり定着していると感じるので、家では出来ない親子同士や地域のつながり、こども同士が遊びに触れながら探求できる場として充実を願います。
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の定期点検に加えて、職員による見回りや声掛けなど安全対策を丁寧に行い、子育て中の親子の憩いの場を提供し続けていることを評価いたします。 ・職員による声掛けは、利用する親子にとっても安心して利用できる要素の一つだと思います。引き続き、丁寧な関係づくりを行っていただきたいと思います。 ・他市からの利用もあり、評判もいいので関係者の努力によるところが大きいと思います。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数が従来の予想を下回り、少子化が進む中、未就学児を対象とした事業は大切に考え、親子で楽しめる魅力ある施設であり続けるよう期待します。 ・遊具は子どもたちの楽しみであると同時に、子どもたちの発達や親子のコミュニケーションにとって不可欠なものです。予算上の課題もあるかと思いますが、安全・安心を第一に環境整備を行っていただきたいです。 ・利用頻度から見ても、備品の適正管理には、常に安心・安全が求められるので、事前の危険個所のチェックにより早めの対応が必要だと思います。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本市のこども広場の特徴をハード面（他市にない遊具等）とソフト面（簡便な利用方法等）の両面でアピールするとともに、同時に利用者増への対応措置も取ることも必要となります。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化しているイベント等の見直しを進めるとともに、利用する親子に職員から積極的にコミュニケーションをとることにより、未就学児を持つ家族が安心して遊べる憩いの場として魅力ある施設となるよう取組みを継続していきます。 ・遊具の点検は、毎年度の定期点検に加えて、職員による日常のこども目線に立った点検も併せて行い、事故等を未然に防いでいきます。 ・安心・安全な施設環境を維持していくためには、遊具や備品の適正な管理が必要となります。計画的に更新を進めていけるよう使用年数等を把握し管理していきます。
-----------	---

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	育児支援推進事業		担当課	保育課	施策	1-4
目的	就園児及び未就園児とその保護者 地域との交流を深めることにより、保護者の育児不安の解消に寄与する。		新規/継続	継続		継続
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	○あそびの広場 ○病児・病後児保育事業 ○子育てネット管理	○あそびの広場 ○病児・病後児保育事業 ○子育てネット管理	○あそびの広場 ○病児・病後児保育事業 ○子育てネット管理			
事業費・財源	予算額 (千円) 10,314	計画額 (千円) 1,696	予算対応 (千円) 1,696	計画額 (千円)	予算対応	
	病児保育事業負担金 1,446	病児保育事業負担金 1,696				
	子育てネット管理委託料 1,056	子育てネット管理委託料 1,056				
	病後児保育協力体制構築委託料 140	病後児保育協力体制構築委託料 176				
	その他 1,956	備品購入費 933				
		その他 1,505				
	人件費(会計年度任用職員) 5,716	人件費(会計年度任用職員)	人件費(会計年度任用職員)			
	特定 4,412 一般 5,902	特定 34 一般 #VALUE!	特定 一般			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・あそびの広場の目的や実施方法について検討を行い、保育園の様子を知りたい、保育園で遊びたいという参加者のため、未就園児の親子の支援として引き続き実施していく方針を決定した。</p> <p>・病後児保育の給食提供状況については、毎日(利用者がいない日含む)定員4人分の給食を毎日調理しているため、7月未まで324食準備しているが、実際に喫食したのは114(約35%)であることを確認するとともに、おかゆの対応や病後児用の食器の管理なども調理員の負担になっていくことを確認した。</p>	<p>・病後児保育の看護師の配置については、急用等により体も際の看護師確保が困難な場合があるが、予約がある時は受入れを断ることができないため看護師配置体制を見直す必要がある。</p> <p>・大門一番町児童遊園において「遊具の安全に関する規準(一般社団法人日本公園施設業協会2024.4月改定)」上、かさわくのない遊具として位置づけられている「遊動木」が設置されていたため撤去したが、他の遊具の老朽化も著しく修繕等が必要な状況にある。</p>	<p>・利用者が1歳6か月未満またはアレルギーがある場合には、お弁当持参をお願いしている。1歳6か月以上児については引き続き給食を提供していくが、保護者の対応が可能な場合は、体調に合わせてお弁当を持参していただくようお願いしている。</p>

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価	A
	有効性	3	やや高い		
	効率性	2	やや低い		
評価視点	1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い				
【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる					
① 他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	✓				
② 単位当たりのコストが前年度よりも悪化している					
③ 電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	✓				
④ コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある					
⑤ 部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	✓				

今後の方向性

成果	④	②	①
拡大			
現状維持	③	⑤	✓
縮小	⑥		
休廃止	⑦		
コスト	皆減	縮小	現状維持
			拡大

第1次評価

第2次評価

事務事業名	育児支援推進事業	課名	保育課
-------	----------	----	-----

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
病児保育事業負担金	1,696		1,696		1,696
子育てネット管理委託料	1,056		1,056		1,056
病後児保育協働体制構築委託料	176		176		176
備品購入費	933		933		933
その他	1,505		1,505		1,505
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	5,366	+0	5,366	+0	5,366
国庫支出金			0		0
子ども・子育て支援交付金			0		0
県支出金			0		0
その他	26		26		26
病児・病後児保育負担金					
病児・病後児保育事業負担金滞納繰越分	1		1		1
その他					
特別保育事業あそびの広場参加料	7		7		7
一般財源	5,332	+0	5,332	+0	5,332

○ 評価指標

評価指標(単位)	病児・病後児保育の利用人数(人)				
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)			100.0		
実績値(事後評価)		144.0			
目標値			50.0	50.0	50.0
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)					
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)					
目標値					
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・保育士がその場に参加し様子を見守りながら、気軽に保育士に相談できる場を提供した。</p> <p>・病後児童保育室を開設し、病院回復期の児童を保育することで、働く親のニーズに寄り添った支援を実施した。</p>	<p>・保育士または保護者同士で話をすることで、入園後の園生活の不安や同じ悩みを打ち明け気持ちを共有することができ、不安の軽減につながった。</p> <p>・病後児保育室を開設したことにより、病氣回復期でも預け先ができたことで、働く世帯の支援につながった。</p>	<p>・未満児で園に入園する児童が増えたことや、子育て支援センターなどの充実によりあそびの広場の参加者が減っているため、目的と手紙を検討する必要がある。</p> <p>・病後児保育の給食提供が調理師の負担や食材の浪費につながっているため、給食提供について再検討の必要がある。</p>

作成担当者	こども教育部	保育課	係長	氏名	上村 久美	連絡先(内線)	3176
最終評価者	保育課長	保育園運営係	担当係長	氏名	塩原 清彦	氏名	上村 久美

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>遊びの広場においては、未就園児とその親の支援ということであり、遊びの広場を行っている保育園と、その利用率が気になる場所である。子育て支援センター、こども広場と共にそれぞれの利用目的を明確にし、集約できる場所は集約し、効率化を図ることも必要かとも思います。</p> <p>病後児保育施設は、開所してから一年が経過し、課題が見えてきたと思いますので、それらの改善をし、支援体制を整えてほしいと思います。</p> <p>親御さんは、子どもとの関り方や、衣食住に係る生活面等で、わが子目線に合わせることによるストレスが発生しやすいと思いますので、相談事業の充実をよろしくお願いいたします</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびの広場の開園を通じて、保護者の育児不安の解消に役立っている点を評価いたします。 ・病後児保育は貴重な社会資源です。仮に利用することがなくても、そうした資源があるということが市の魅力向上や子育て世代の安心につながると思われますので、事業の継続と発展を望みます。 ・病後児保育室の開設により、育児支援につながったことは、評価できます。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育室の開設により働く世帯の支援につながるなど、子育て中の親子を対象とする大事な事業です。さらなる広報に努め、利用ニーズの掘り起こしを期待します。 ・利用方法の周知も含め、利用者との丁寧なコミュニケーションが満足度や安全性の向上につながると思われます。引き続き、ソフト面からのサービス向上に努めていただきたいです。 ・利用者の年齢を考慮し安全面から人的配置を適切にするとともに、不測の事態に備えることが重要だと思います。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のサービス提供の範囲と受けて側（市民）のできる範囲の役割分担を明確にすることが必要です。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育事業については、開始して2年目であり、さらなる認知度向上のため保育園、小学校等において、病後児保育室の周知に努めていきます。 ・現在行っている電話による利用申し込みは、直接保護者の困りごとを聞くことができるのと同時に、適時適切な情報の提供をすることができます。引き続き、寄り添った支援を実施し、保護者の安心感につながるよう努めていきます。 ・病後児保育の対象については、生後5か月から小学3年生までの幅広い年齢層の児童となりますので、配置基準に沿った適切な人的配置を行い、受け入れを実施していきます。
-----------	--

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	元気っ子応援事業		担当課	こども未来課	施策	1-5
目的	18歳未満の子ども・その保護者 一人ひとりの個性や特性を大切にしたい支援体制を構築する。		新規/継続	継続	継続	継続
意図	一人ひとりの個性や特性を大切にしたい支援体制を構築する。		会計区分	一般	一般	一般
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施	○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施	○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施			
事業費・財源	予算額	7,016	計画額	7,014	(千円)	予算対応
	相談等謝礼 4,120 費用弁償 628 ことばの教室運営委託料 1,401 その他 867	相談等謝礼 4,120 費用弁償 628 ことばの教室運営委託料 1,401 その他 865	相談等謝礼 4,120 費用弁償 628 ことばの教室運営委託料 1,401 その他 865	人件費(会計年度任用職員) 0 特定 1,413 一般 5,603	人件費(会計年度任用職員) 5,601 特定 1,413 一般 5,601	特定 1,413 一般 5,603 特定 1,413 一般 5,601

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	A
	有効性	4	高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性					
成果	拡充	④	②	①	
	現状維持	③	⑤	✓	
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大	

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
・幼稚園、保育園から小学校へのつなぎ支援を丁寧に行うため、年度当初から早めの継続相談に取り組んだ。 ・個への支援と学校職員への支援を明確に分け、個への支援のうち、進学など次のライフステージに支援をつなぐことの重要性について、小中学校フォローアップ訪問で学校関係者に啓発を行った。 ・保護者に対しては、1学期に1回を目安に困りごとに対する相談ができる旨を記載したメールを配信し、相談の機会を増やすと共に事業の啓発を行った。	・保護者の中に、事業による支援を受けていないと感じる者、または制度自体についてよく分からない者がいる。 ・事業の成果が見えないとの指摘が寄せられている。 ・元気っ子応援事業の目的や内容の啓発方法の検討が必要である。 ・託児保育士派遣委託業者から、保育士賃金の上昇により単価の見直しの要望がある。	・事業成果の見える化をする。 ・子ども達の様子に応じた既存事業の運用を随時見直すことが必要である。 ・必要に応じて元気っ子応援会議を開催し、有識者の助言を参考に事業改善を行う。 ・託児保育士派遣委託料の人員費上昇に伴い、委託料の見直し、予算増額の要求はない。

第1次評価

第2次評価

事務事業名	元気っ子応援事業	課名	こども未来課
-------	----------	----	--------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
相談等謝礼	4,120		4,120		4,120
費用弁償	628		628		628
ことばの教室運営委託料	1,401		1,401		1,401
その他	865		865		865
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	7,014	+0	7,014	+0	7,014
財源内訳					
国庫支出金	1,413		1,413		1,413
県支出金	(名称)		0		0
地方債	(名称)		0		0
その他	(名称)		0		0
一般財源	5,601	+0	5,601	+0	5,601

○ 評価指標

評価指標(単位)	支援会議参加数(回)				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
年度					
中間値(事中評価)		63			
実績値(事後評価)	157				
目標値		160	160	160	160
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)	年長児の継続相談実施率(%)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		66.6			
実績値(事後評価)	72.9				
目標値		80.0以上	85.0	85.0	85.0
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・元気っ子相談、継続相談、支援会議参加、フォローアップ訪問を例年通り実施した。</p> <p>・医療相談(17人)、ことばの相談(58人)、心理検査(105人)、作業療法士巡回相談(延べ129人)、のびのび会(延べ106回)を実施した。</p> <p>・子育て応援教室(延べ64人)、元気っ子講演会(60人)を開催した。</p> <p>・ことばの教室を委託し、41人に対し232回実施した。</p> <p>・元気っ子応援会議や検討部会を4回開催した。</p>	<p>・相談支援を必要とする子どもや保護者のニーズに応えるため、専門家による巡回相談や教室を実施することができた。</p>	<p>・幼稚園・保育園から高校卒業までのライフステージごとのつなぎや、関係機関へのコーディネートを相談員が担えるような体制づくりが必要である。</p> <p>・継続相談や支援会議にて、つなぎ支援を大切にしているとともに、相談の啓発方法を検討し、保護者の相談のニーズを把握して対応する必要がある。</p>

作成担当者	こども教育部	こども未来課	元気っ子・若者サポート係	職名	主任	氏名	高山 ゆり	連絡先(内線)	3188
最終評価者	こども未来課長		竹中 康成	担当係長		元気っ子・若者サポート係	氏名	永原 敏美	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>今までの取組を検証し、発達的な課題を持つお子さんはもちろん、不登校につながる要素を持つお子さん等についても応援できる可能性が十分あるので、学校や保護者も含め、どのようにすると一層この事業が有効に機能するのかをもう少し幅広い見地から見出すなど、改善を図りたい。相談支援が必要でない保護者には本事業の認知度が低いと思いますが、仕組みが分かっていない保護者もいるのではないかと思います。小学校入学を機に再度、元気っ子応援事業の取組内容を周知するなど、保護者向けのPRがもう少し必要かと思います。元気っ子事業の出張相談窓口（支所、公民館、えんぱーくや商業施設）などは、どうだろうか。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・校種が変わる際のつなぎ支援を丁寧に行うなどの相談支援やフォローアップ訪問での学校関係者への啓発など、継続的に支援体制を構築できるように取り組まれていることを評価いたします。 ・保護者にとって相談ができる場所がある、ということが何より重要だと思われま。引き続き、相談体制及び連携体制の充実に取り組んでいただきたいです。 ・個々の個性を大切にすることは、重要なことであり必要なことであるので、色々な課題を抱えての相談業務は評価するところです。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の増加などで、学校でのかかわりが希薄になる子どもや保護者が増えています。そのためにも学校関係者以外でもかかわれる人が存在し続けるよう、切れ目のない支援体制が構築できることを期待します。 ・利用者が支援を受けていないと感じていることは、むしろ良い傾向と考えることも出来るかと思われま。塩尻市としてごく自然のこととして事業が展開されていることが望ましい場合もあるからです。また、事業の成果についても、事業の特性から成果を可視化することが難しいものであることから、単なる数値として示すのではなく、相談や支援による質的な部分を丁寧に評価していただきたいと思いま。 ・見守る年齢範囲が拡大したことから、事業成果が見えにくくなってきていると思うので、元気っ子応援事業の当初の原点に戻ることも必要ではないかと思いま。年齢に沿った相談業務がメインになることから、いかに気軽で一貫性のある相談業務ができるかの環境整備が求められる。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果の見える化は難しい問題であるが、これまでのプロセスを大切にするとともに、知見を活かした相談業務をしてもらいたい。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から、本事業と学校における特別支援教育との区別が不明確であったのを、組織的に業務を切り分けたことで、児童・生徒・保護者への相談支援を行う目的に集約しています。 ・成果の可視化は、個人それぞれのありたい姿やウェルビーイングが異なるため、御指摘のように難しいと考えていますが、事業成果を求める声もあり、制度周知とともに事業の改善に繋がる効果測定を検討してまいります。
-----------	--

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	教育再生推進事業(可能なら「教育未来創造事業」(改称))		担当課	学校教育課	施策	2-1
目的	小学生、中学生、保護者、教職員 教育振興基本計画具現化に向けた教育の未来創造の推進		新規/継続	継続	一般	継続
年度別事業内容(手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務(PDCA導入×学校の働き方改革×授業づくり強化=教育未来創造) 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務(PDCA導入×学校の働き方改革×授業づくり強化=教育未来創造) 			
事業費・財源	予算額 (千円) 8,298 費用弁償 324 その他 165	計画額 (千円) 1,989 費用弁償 324 学校発動き方改革実証交付金 1,500 その他 165	計画額 (千円) 学校発動き方改革推進交付金 3,000			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	・塩尻市教育センターの学校教育指導員2名が指導主事3名と連携し、学校教育に係る調査研究を行っているほか、問題を抱える学校・学級を伴走支援している。 ・学校の働き方改革を推進するため、長野県教育委員会から県内で唯一「魅力アップUP校支援事業」の指定を受け、塩尻西小学校と広陵中学校で取組を開始。6月の任意の1週間に記録したワークログをもとに、文科省学校業務改善アドバイザー妹尾氏、信州大学荒井准教授と共に学校発の働き方改革案を検討中。	当年度生じた新たな問題等 ・教職員の人材不足、児童生徒の多様化、保護者や地域からの教育に対する期待感などにより、学校・学級経営の難しさが増している。 ・ワークログにより、「教職員の忙しさ」の内訳が可視化された一方で、学校・学年・学級・役割・校務分掌などで忙しさの内容が異なることが分かった。 ・学校教育指導員や指導主事の学校訪問などで、教員個人の負荷・能力差や、古いスタイル(一斉指導)の授業が見えられた。 ・教育振興基本計画の実現に向けた学校の取り組みに対するPDCA機能がない。	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項 ・教育振興基本計画を市内全校で推進するため、独自のPDCAサイクルを導入する。具体的には、明示された「市の方針」を盛り込んだブランドデザインを各学校が作成・実践し、指導主事が学校訪問で見取り、教育長及び教育センターが取り組みを評価することにより、次年度へ向けた改善を促す。 ・学校の働き方改革を強力に推進するため、「学校発動き方改革実証交付金」を創設。塩尻西小学校と広陵中学校の働き方改革案などの実証を通して、成果や課題を校長会等で共有し、教員の本業業務である「児童生徒に向き合う時間」や「授業準備の時間」に注力できる環境を実現する。令和8年度以降は「学校発動き方改革推進交付金」に改名し、全校で働き方改革を推進することにより「子育て世帯にも教員にも選ばれられるまち塩尻」を目指す。 ・新学習指導要領に基づき「個別最適化学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、市教委で設置している「学力向上研究委員会」と「情報教育推進委員会」を統合し(仮)ワークログ授業スタイル研究チームを創設。本市が目指す「ワークログ」する主体的な学びづくりを目指し、専門家の助言を受けながら好事例を創出し、横展開を図る。
-----------------	---	---	---

第1次評価

第2次評価

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	C
	有効性	2	やや低い		
	効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

①	他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	
②	単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	✓
③	電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤	部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	✓

今後の方向性

成果	④	②	①
	現状維持	⑤	
	縮小	⑥	
	休廃止	⑦	
コスト	皆減	縮小	現状維持
			拡大

事務事業名	教育再生推進事業(可能なら「教育未来創造事業1」へ改称)	課名	学校教育課
-------	------------------------------	----	-------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
費用弁償	324		324		324
学校発働さ方改革実証交付金	1,500		1,500		1,500
その他	165		165		165
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	1,989	+0	1,989	+0	1,989
国庫支出金 (名称)			0		0
県支出金 (名称)			0		0
地方債 (名称)			0		0
その他 (名称)			0		0
一般財源	1,989	+0	1,989	+0	1,989

○ 評価指標

評価指標(単位)	学校発働さ方改革の実践校数				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		0校			
実績値(事後評価)	0校				
目標値		2校	5校	13校	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)	教育振興基本計画の基本目標を4つ以上エグゼクティブデザインに反映させた学校数				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-			
実績値(事後評価)	-				
目標値		-	8校	13校	
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
※令和6年度新規事業	※令和6年度新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や学校内が複雑化・多様化していることに加え、GIGAスクール・小学校英語教育・インクルーシブ教育など新たな教育政策への対応などにより、教育現場の長時間労働が社会問題化している。

作成担当者	ことば教育部	学校教育課	児童生徒支援係	職名	課長補佐	氏名	小松 義宏	連絡先(内線)	3113
最終評価者	学校教育課長		上條 崇	担当係長		児童生徒支援係	氏名	小松 義宏	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>地域や各校の特色を大事にしつつ、市の教育振興基本計画を意識した各校の取組をもう少し進めることで塩尻市の目指している教育についても前進させたい。</p> <p>働き方改革を推進し、教員が児童生徒に向き合う時間や授業の教材研究等にあてる時間をさらに生み出し、子どもたちがより一層豊かに学べる学校環境をつくりたい。多方面におけるPDCAが機能するように進めていってほしい。学校現場の状況把握のための調査やアンケート類は極力廃止してもらいたい。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の自助努力だけに任せては改善が想定したように進みません。長野県教育委員会から「魅力アップUP校支援事業」の指定を受け、積極的に学校の働き方改革の推進に取り組まれていることを評価いたします。 ・学校の働き改革は、まずは、内なる改革として、忙しさの原因を把握するとともに、従来の仕方を見直し、実行していく方向性に期待します。その際は教員の本来業務を堅持しつつ、保護者との理解を得つつ、事業実施してもらいたい。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校業務改善アドバイザーの妹尾氏は、豊富なアイデアをお持ちです。指定の2校の実証結果を待たずとも、他の小中学校においてもよいものは、すぐに取り入れ、学校の働き方改革を推進し、教員の本来業務の充実につなげられるよう期待します。 ・教育現場の負担軽減を目指す上で、そのための事務作業や書類作成等により新たな負担が生じることがないように留意していただきたいです。 ・内なる改革の際には、各学校の伝統も尊重するとともに考慮してもらいたい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの実効性を確保する観点から不断の見直しが必要となります。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の働き方改革では、「時間外勤務時間の削減」のみを目的とするのではなく、「生み出した時間で何に注力するか」を教職員一人ひとりが考えることと、まずは試しにやってみることが大切と考えております。 ・長野県「魅力アップUP校支援事業」の指定校では、現在、日課を変更したり、清掃時間を短縮したりするなど、教職員同士の話し合いから生まれた改善案を試行しています。 ・市教育委員会では、こうした学校発の働き方改革の取り組みを市内全校に広げ、伴走支援していくことに加え、事務作業などの業務を効率化し、教員業務支援員に業務を移管することにより、教職員が心にゆとりをもって教育に専念できる学校づくりを進めていきます。
-----------	---

令和6年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	教育相談支援事業		担当課	学校教育課	施策	2-5
目的	小学生、中学生、保護者、教職員	誰一人取り残さない学びの保障		新規・継続 会計区分	継続	一般
年度別事業内容(手段)	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ○教育支援センターによる総合的な不登校対応 ○日本語学級の運営 ○中学校「校内教育支援センター」の機能強化と小学校への「校内教育支援センター」設置促進 ○相談アプリの実証 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育支援センターを中心とした官・民・学による総合的な不登校対応 ○匿名相談チャットアプリによるいじめ、不登校、自殺などの未然防止 ○日本語学級を中心とした外国由来児童生徒支援 ○「社会を生き抜く力」を備えたひとの育成に向けた設計図の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育支援センターを中心とした官・民・学による総合的な不登校対応 ○匿名相談チャットアプリによるいじめ、不登校、自殺などの未然防止 ○日本語学級を中心とした外国由来児童生徒支援 ○「社会を生き抜く力」を備えたひとの育成に向けた設計図の実践 			
事業費・財源	予算額 (千円) 32,602 講師謝礼 1,269 相談支援員派遣委託料 365 匿名相談アプリ使用料 1,650 その他 3,230	計画額 (千円) 9,019 講師謝礼 1,870 日本語支援体制再構築事業委託料 1,700 匿名相談アプリ使用料 1,650 フリースクール利用者支援補助金 900 その他 2,899	計画額 (千円)			
	人件費(会計年度任用職員) 26,088	人件費(会計年度任用職員)	人件費(会計年度任用職員)			
	特定 1,725 一般 30,877	特定 620 一般 8,399	特定 一般			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題等に対する取組状況	当年度生じた新たな問題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> ・増加傾向にある不登校児童生徒を支援するため、塩尻市教育支援センターを中心とした官・民・学による支援ネットワークを構築し、様々な支援策を開始した。(詳細は市HPで公開中) ・市内小学校4校、中学校4校にスペシャルサポートルームを設置し、校内の支援体制を整備した。 ・いじめ、不登校などの早期発見・早期支援につなげるため、文科省・長野県から委託を受け、市内全校で6月より「匿名相談チャットアプリ(ぼーち)」の実証運用を開始した。(8月末までに1万7千件以上の書き込みあり) ・日本語支援が必要な外国由来児童生徒への支援を強化するため、新たな講師の確保や、中学校への講師派遣などを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として不登校児童生徒数が増加傾向にあること、小学校から不登校による児童が増えていることから、未然防止・早期発見・早期支援の重要性が増している。 ・いじめ、不登校、引きこもり、自殺などの未然防止のために、幼保小中高が連携し、段階的に力を伸ばしていくための具体的な行動指標や実践方法を検討し、実行に移していく必要がある。 ・コロナ禍後、日本語指導を必要とする外国由来の児童生徒数が増加しており、日本語ゼロのまま転入してくるケースや、高校進学を目指すケースなどが増えていることから、支援体制を再構築する必要がある。 ・広丘小学校の日本語学級在籍児童が増え、早急に対応した支援体制を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・匿名相談チャットアプリ、SOSの出し方教育、相談しやすい学校づくりなどにより、未然防止・早期発見・早期支援を行う。また、不登校対応検討委員会を中心に幼保小の連携の在り方を研究し、小学校低学年段階における不登校の未然防止を目指す。 ・スペシャルサポートルームの設置、充実に促進するほか、教育支援センターを中心とした官・民・学の支援ネットワークによる社会的自立支援を進める。※国が新たにアウトリーチ支援員とSSR支援員への補助を創設(補助率2/3)したため、良い人材がいれば増員を検討したい。 ・いずみ塾広丘駅前校のフリースクール認定(R6.3次申請予定)が視野に入ってきたこと、近隣市の動向を踏まえフリースクール利用者支援補助金の内容を見直す。 ・松本市がR6.10に開設するメタバース空間上のオンライン教育支援センターと連携し、不登校児童生徒支援の実証を行う。 ・広丘小学校に講師兼コーディネーターを派遣し日本語学級の支援体制を強化するほか、市全体の日本語支援の強化に向けた検討を開始する。

第1次評価

第2次評価

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価
有効性	2	やや低い		C
効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評価は低くなる

① 他の実施主体を活用し、成果維持のままコスト等の削減が可能	✓
② 単位当たりのコストが前年度よりも悪化している	✓
③ 電子化等の事務改善、人員見直しによりコスト削減の余地がある	✓
④ コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がある	
⑤ 部分的に廃止・縮小しても成果の達成が可能	

今後の方向性

拡充	④	②	①
現状維持	③	⑤	
縮小	⑥		
休廃止	⑦		
コスト	皆減	縮小	現状維持 拡大

事務事業名	教育相談支援事業	課名	学校教育課
-------	----------	----	-------

○ 令和7年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
講師謝礼(高ボッチ教室・日本語学級・不登校親の会)	1,870		1,870		1,870
旅費(支援員日額旅費)費用弁償(日本語学級講師)	821		821		821
消耗品費(日本語学級、SSR新規開設)	1,250		1,250		1,250
日本語支援体制再構築事業委託料	1,700		1,700		1,700
匿名相談アプリ使用料	1,650		1,650		1,650
メタバース空間使用料	297		297		297
フリースクール利用者支援補助金	900		900		900
その他	531		531		531
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	9,019	+0	9,019	+0	9,019
国庫支出金	600		600		600
教育相談体制整備事業補助金					
財					
原					
内					
訳					
支出金	20		20		20
地域自殺対策強化事業補助金					
(名称)			0		0
地方債					
(名称)			0		0
その他					
一般財源	8,399	+0	8,399	+0	8,399

○ 評価指標

評価指標(単位)	スペシャルサポートルームの設置校数				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
中間値(事中評価)		8校			
実績値(事後評価)	0校				
目標値		7校	12校	13校	
指標実績値の要因分析(事後評価)					
評価指標(単位)	不登校児童生徒数(30日以上欠席・理由不登校)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
中間値(事中評価)					
実績値(事後評価)	200人				
目標値		前年より減	前年より減	前年より減	
指標実績値の要因分析(事後評価)					

○ 事後評価【令和5年度】

取組内容	結果・成果	課題
<p>・増加している不登校児童生徒への支援体制を強化するため、子と親の心の支援員を2名から4名に増員した。</p> <p>・塩尻西小学校5年生及び広陵中学校1～2年生を対象とした匿名相談アプリの実証事業や、民間の塾と連携した不登校児童生徒の学習支援に係る体験会を行った。</p> <p>・不登校の子どもをもつ親の会を延べ5回開催した。</p>	<p>・子と親の心の支援員を増員したことで、より多くの児童生徒や保護者とつながることができるようになった。</p> <p>・当事者からの意見や実証事業の結果を踏まえ、教育支援センター設置、匿名相談アプリ導入、塾と連携した学習支援事業、親の会など実効性の高い支援策の実現につなげることができた。</p>	<p>・依然として不登校や不登校傾向の児童生徒が増加傾向にあることから、早期発見・早期支援や未然防止の取り組みにも力を入れる必要がある。</p> <p>・支援の強化にあたっては、教員の負担に配慮した取り組みが求められる。</p>

作成担当者	ことども教育部	学校教育課	児童生徒支援係	職名	課長補佐	氏名	小松義宏	連絡先(内線)	3113
最終評価者	学校教育課長		上條 崇	担当係長		児童生徒支援係	氏名	小松 義宏	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>不登校等の児童生徒の大きな増加が見られるので、スペシャルサポートルームの充実や親の会、匿名相談アプリ導入、民間とのネットワーク構築など、支援の多様化・強化は大切である。ぽーちによる早期発見・支援の分析と解析は必要である。一方で、多種多様な支援と丁寧な対応により不登校が増えてしまっていないか懸念される。新たな不登校児童を生み出さないために、子どもや親が相談したいときにどこに相談したら良いかを分かりやすくする等、未然防止のための相談業務も充実させてほしいと思う。「明日もいきたい楽しい学校づくり」の推進を図るとともに、特に小学校低学年の段階では、幼保小の連携や元気っ子応援事業等ともタイアップして、子どもや保護者支援をさらに充実させ、何としても現状を改善し子どもの未来をより開いておきたい。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度にはなかったスペシャルサポートルームを多くの学校で設置するなど、急増する不登校生への対応を手厚くしていることを評価いたします。日本語指導を必要とする生徒も増加傾向ですが、不登校生徒も日本語指導を必要とする生徒も、どの子にも「学びの保障」ができるよう、支援体制の充実が求められています。 ・不登校対策として、新たな取り組みが図られているので、一步でも前に進むことを期待したいです。
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャルサポートルームは、設置するだけでは不登校の減少にはつながりにくいです。部屋に常駐する人員を確保し、その部屋で子どもが安心安全に過ごせるような環境を整えるなど、学校の居場所となるよう期待します。 ・外国にルーツをもつ子どもたちへの教育や支援について、先行的に取組みがなされている他県他市町村の事例を参考にし、塩尻市の現状や特徴に合わせた事業展開を望みます。 ・目の前の対処療法も必要ですが、長期的に児童・生徒の成長を見守ることが重要ですので、学校以外の学べる場所等の情報提供も必要ではないかと思えます。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の原因を把握し、複合的な要因を根気よく解決するしかないと思えます。学校に行かない選択ができることも必要です。公教育の限界なこともあります。

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会では、増加している不登校児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えるため、市教育支援センターが中心となり様々な関係者と連携し、支援体制の充実に向けた取り組みを積極的に進めています。 ・また、一人一台端末に匿名相談チャットアプリ「ぽーち」を導入するなど、心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援できる体制づくりを進めています。 ・今後は、学校が一人ひとりの良さや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍でき、安心して学べる場所になれるよう、学校運営や授業の改善を進めてまいります。 ・外国由来の児童生徒への対応は、支援ニーズが変化し、高校進学を見据えた支援も求められていることなどから、今後、支援体制の再構築を進めてまいります。
-----------	--

塩尻市教育振興基本計画成果指標

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	近年の 傾向	R3	R4	R5	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期					
【知】 確かな知識とそ れを活用する知 恵の育成	1 知識となる基礎学 力の定着や技能 の習得	授業以外(月～金)の1日当たりの学習時間が小学 生1時間以上、中学生2時間以上の児童・生徒の割 合 (小6…1時間以上 中3…2時間以上) 授業でコンピュータなどのICT機器をほぼ毎日使 用した児童・生徒の割合 国語の授業の内容が分かる児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし 算数・数学の授業の内容が分かる児童・生徒の 割合	小6	70.4%	H29	↘	61.0%	70.8%	62.1%	—	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	57.1%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	32.8%	H29	↘	37.9%	28.9%	27.0%	—	↗	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	33.7%							
			小6	—	—	↗	5.0%	19.9%	35.4%	—	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	28.2%							
			中3	—	—	↗	4.6%	6.7%	20.7%	—	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	28.1%							
			小6	83.8%	H29	↗	85.6%	88.0%	89.8%	—	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	85.7%							
			中3	82.3%	H29	→	76.4%	83.8%	82.0%	—	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	80.0%							
			小6	84.3%	H29	→	87.1%	87.2%	88.6%	—	↗	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	81.2%							
			中3	70.3%	H29	↗	74.8%	76.0%	78.6%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	73.3%							
			小6	71.7%	H29	↗	65.1%	71.3%	74.8%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	74.8%							
			中3	61.5%	H29	↗	62.9%	66.5%	69.7%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	72.6%							
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 一人ひとりの豊か な心の育成	将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合	小6	87.8%	H29	↗	78.4%	81.7%	82.9%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	81.5%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	71.4%	H29	→	71.5%	66.0%	68.2%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	66.3%							
			小6	93.6%	H29	→	95.2%	97.6%	97.7%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	95.9%							
			中3	93.7%	H29	↘	96.1%	94.7%	93.9%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.6%							
			小6	90.1%	H29	→	82.3%	84.1%	85.1%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	83.5%							
			中3	74.9%	H29	↘	69.3%	62.7%	57.0%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	38.0%							
			小6	94.9%	H29	—	—	—	—	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	—							
			中3	95.6%	H29	—	—	—	—	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	—							
			小6	92.5%	H29	→	93.5%	92.7%	92.4%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	91.9%							
			中3	94.5%	H29	→	95.2%	94.8%	94.6%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	92.4%							
【体】 健やかな体の育 成と規則正しい 生活習慣の定着	1 規則正しい生活習 慣の定着	規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・ 生徒の割合) 規則正しい生活状況(同じ時刻に寝ている児 童・生徒の割合) 授業以外(月～金)の1日当たりの読書時間が3 0分以上の児童・生徒の割合 一人あたりの年間読書冊数(学校図書館) 一人、タブレット、ゲーム機等の利用につい て、家の人と約束があり守っている児童の割合 朝食を毎日食べる児童・生徒の割合 大人と朝食をとる児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし	小6	84.5%	H29	→	86.9%	83.9%	87.3%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	84.9%	全国学力・学習状況 調査	1年					
			中3	80.0%	H29	↗	82.9%	83.9%	85.9%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	80.9%							
			小6	38.5%	H29	↗	37.8%	40.2%	42.4%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	37.3%							
			中3	40.9%	H29	↗	31.4%	34.2%	35.2%	—	↗	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	33.7%							
			小学校	77.9冊	H29	→	78.5冊	77.1冊	78.7冊	前年	↗	前年度よりも多い冊数を目標とする。	—							
			中学校	25.4冊	H29	→	14.3冊	13.7冊	14.8冊	前年	↗	前年度よりも多い冊数を目標とする。	—							
			小6	—	—	→	70.9%	67.8%	67.8%	前年	↗	基準年度よりも高割合を目標とし、県よりも 高割合を目標とする。	—							
			小6	97.0%	H29	→	94.9%	96.7%	96.4%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	93.9%							
			中3	96.0%	H29	→	94.5%	91.9%	94.2%	—	↗	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	91.2%							
			小学生	55.0%	H29	→	61.4%	61.4%	60.1%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	—							
中学生	48.1%	H29	↘	55.2%	52.7%	54.7%	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	—										
3 運動に親しみ、健 康な体をつくる習 慣の定着	2 正しい食習慣の定 着	体力の合計点	小5男	56.35点	H29	→	51.94点	52.34点	52.76点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	52.59点	全国学力・学習状況 調査	1年					
			小5女	57.49点	H29	→	54.35点	56.07点	54.29点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.28点							
			中2男	43.57点	H29	↗	40.85点	41.7点	44.14点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.32点							
			中2女	50.18点	H29	→	48.08点	47.22点	47.04点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	47.22点							
			小5男	70.5%	H29	→	71.8%	73.2%	71.5%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	72.1%							
			小5女	55.0%	H29	↘	59.9%	56.9%	52.6%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.5%							
			中2男	64.0%	H29	→	58.1%	62.3%	62.6%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	63.4%							
			中2女	41.5%	H29	→	39.3%	46.0%	40.7%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	43.1%							
			社会を生き抜く力の養成	3 健やかな体の育 成と規則正しい 生活習慣の定着	運動が好きと思っている児童・生徒の割合	小5男	56.35点	H29	→	51.94点	52.34点	52.76点	—			↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	52.59点	市教委調査	1年
						小5女	57.49点	H29	→	54.35点	56.07点	54.29点	—			↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.28点		
中2男	43.57点	H29				↗	40.85点	41.7点	44.14点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.32点							
中2女	50.18点	H29				→	48.08点	47.22点	47.04点	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	47.22点							
小5男	70.5%	H29				→	71.8%	73.2%	71.5%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	72.1%							
小5女	55.0%	H29				↘	59.9%	56.9%	52.6%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.5%							
中2男	64.0%	H29				→	58.1%	62.3%	62.6%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	63.4%							
中2女	41.5%	H29				→	39.3%	46.0%	40.7%	—	↗	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	43.1%							
全国平均	—	—				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全国体力・運動能力、 運動習慣調査	1年			

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	近年の 傾向	R3	R4	R5	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期
4 きめ細かな支援 による教育の平 等な提供	1 一人ひとりに対す るきめ細かな指導 の推進	学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし	小6	88.1%	H29	→	83.4%	89.4%	87.2%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。 85.3%	全国平均	全国学力・学習状況 調査	1年
		自分には良いところがあると思う児童・生徒の割 合	中3	81.1%	H29	→	79.0%	82.5%	82.5%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 合よりも高割合を目標とする。 81.8%			
		先生が自分の良い点を認めてくれていると思う 児童・生徒の割合 ※R3～調査項目なし	小6	80.1%	H29	↗	79.3%	84.7%	88.2%	—	↗	前年度よりも高割合を目標とし、 国・県の割 合よりも高割合を目標とする。 83.5%			
		市内在住の年中児のうち元気づけ子相談を受けた 子どもの割合	年中児	97.0%	H29	↗	78.4%	75.1%	81.9%	—	→	前年度よりも高割合を目標とし、 国・県の割 合よりも高割合を目標とする。 80.0%			
5 学校・家庭・地域 が一体となった 教育体制の整備	2 支援が必要な家庭 への対応の充実	学校生活が充実していると感じる児童・生徒の割合	小5	—	—	→	63.0%	65.0%	調査実施なし	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。	—	市教委 (Q-Uアンケート)	1年
	3 支援が必要な家庭 への対応の充実	すべての児童・生徒が十分に学べる支援が提 供されていると感じる市民の割合	中1	71.0%	H29	→	55.0%	56.0%	調査実施なし	前年	↗	前年度よりも高割合を目標とする。			
	1 学校の運営体制 の向上と機能強化	職員研修の実績(参加者の延べ件数) 幼保小中連携の交流回数	学校教職員 幼稚園、保育園、小学校	8講座 383人	H29	↗	11講座 557人	11講座 518人	18講座 703人	前年	→	前年度を下回らないことを目標とす る。			
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	2 地域の教育力の 活用	地域と連携した事業の実施項目数 ※R1は調査なし 教育活動における地域人材活用事業数 (学校支援ボランティアの登録者数) ※R1は調査なし	学校	—	—	→	428	426	412	前年	→	事業項目数を維持し、継続した取り 組みを行っていくことを目標とする。 430	—	市教委調査	1年
	1 学校教育施設の 整備	大規模改修件数(～R3)	学校	6校	H29	—	—	—	—	—	→	計画の目標件数の達成			
	2 学校外の教育環 境の整備	長寿命化改良事業件数(R4～) 学校図書整備率(標準を下回る学校)	学校 学校図書館	小1校 中2校	H29	—	小3校 中3校	小3校 中3校	小3校 中3校	前年	↘	学校図書館図書標準に定められた 割合をすべての学校が上回る			
きめ細かで特色ある教育環境の整備	2 学校外の教育環 境の整備	安心して子どもを預けられる環境があると感じる 人の比率	全市民	36.8%	H29	→	41.4%	41.8%	48.1%	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。	—	市民意識調査	1年
		公民館事業の子どもの参加者数	児童・生徒	66講座 3,251人	H29	↗	71講座 2,595人	117講座 2,926人	125講座 5,087人	前年	↗	前年度よりも増加することを目標と する。			
		通学路の安全点検と対策実施箇所(事業数と改 善数)	点検箇所	点検箇所 35 対策実施 22	H29	—	点検箇所 29 対策実施 29	点検箇所 26 対策実施 25	点検箇所 24 対策実施 24	前年	↘	積み残し件数の減少			

※ 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣調査については、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し未実施であったため、数値なし。

元気っ子育成支援プランⅢ 評価指標

○子育てしやすいまちであると思う市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:30頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
55.5	54.1	61.7	62.5	58.3	58.4	70	%

○子育てを楽しんでいると感じる人の割合(子ども・子育てに関する市民アンケート)

担当課:こども課 計画:30頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
50	令和5年度にアンケート調査実施				41.3	51	%

○合計特殊出生率(塩尻市)

担当課:健康づくり課 計画:30頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
1.50	1.50	1.58	1.35	1.30	-	1.70	人

○出生数(塩尻市)

担当課:こども課 計画:30頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
513	497	512	444	429	412	維持又は増加	人

○市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合

担当課:家庭支援課 計画:33頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
94.5	97.1	98.1	97.3	100	91.7	99	%

○子育て体験講座への父親の参加率

担当課:健康づくり課 計画:34頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
14.1	11.9	10.5	15.8	18.7	17.1	15	%

○父親の育児休業取得率(子ども・子育てに関する市民アンケート)

担当課:こども課 計画:34頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
2.5	令和5年度にアンケート調査実施				17.0	5.0	%

○社員の子育て応援宣言市内登録企業数

担当課:産業政策課 計画:36頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
52	55	56	57	59	59	60	社

○仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:36頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
39.7	36.8	42.8	45.5	39.4	37.4	40	%

○市内のながの子育て家庭優待パスポート事業参加事業者数

担当課:社会教育スポーツ課 計画:39頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
129	131	131	133	133	133	140	社

○離乳食教室参加者数

担当課:健康づくり課 計画:40頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
161	143	96	118	127	130	190	人

○家族(大人)と一緒に朝食をとる年長児の割合(幼児)

担当課:こども課 計画:40頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
68	68	65	68	66	55	76	%

○安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:48頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
43.1	38.9	44.4	41.4	41.8	48	45	%

○ファミリーサポートセンターの提供会員数

担当課:子育て支援センター 計画:48頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
83	92	95	94	91	95	95	人

○子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合

担当課:企画課(市民意識調査) 計画:55頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
36.9	37.4	40.4	36.3	33.3	35	40	%

○20歳～49歳の社会増加数(前年との比較)

担当課:企画課 計画:57頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
168	40	△ 15	△ 34	173	27	75	人

○OMR(麻しん・風しん予防接種)Ⅱ期の接種率

担当課:健康づくり課 計画:60頁

目標値

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
94.0	92.9	95.1	91.4	95.5	92.6	95	%

塩尻市生涯学習推進プランⅢ 指標一覧(令和3年見直し版)

基本目標	施策の柱	基本施策	指標	現状値/年度	令和4年度	令和5年度	出所・担当課(R5時点)				
1	みんなに開かれた学習の「場」の整備と活用	生涯学習関連施設の充実	図書館や公民館などの利用環境が整っている	71.7%	R2	70.7%	72.3%	市民意識調査			
			総合文化センター利用者数	44,820	R2	58,511	62,337	社会教育スポーツ課(社会教育)			
			2 市民交流センターの効果的活用の推進	5つの重点分野をテーマとした事業の開催数	294	R2	394 交流:67 子C:94 園:233	472 交:69 子C:93 園:320	市民交流センター・図書館・子育て支援センター		
				5つの重点分野をテーマとした事業の参加者数	8,929	R2	16,028 交流:4,253 子C:2,306 園:9,469	16,908 交:3,852 子C:2,470 園:9,287	市民交流センター・図書館・子育て支援センター		
			3 北部交流センターの効果的活用の推進	北部交流センターにおける各種講座等の開催数	16	R2	10	13	中央公民館		
				北部交流センターにおける各種講座等の参加者数	1,853	R2	1,730	1,492	中央公民館		
			4 地区公民館等の効果的活用の推進	地区公民館・分館における各種講座等の開催数	510	R2	847	1,002	中央公民館		
				地区公民館・分館における各種講座等の参加者数	11,073	R2	17,375	20,754	中央公民館		
			5 ふれあいプラザの効果的活用の推進	ふれあいプラザにおける各種講座等の開催数・参加者数	14回 201人	R2	14回 170人	14回 241人	社会教育スポーツ課(共生推進)		
				講座受講者の満足度	92%	R2	100%	80%	社会教育スポーツ課(共生推進)		
			6 文化財の保存・活用	重要伝統的建造物群保存地区の修理修景実施数	2	R2	5	5	文化財課		
				7 文化施設の運営	榑川地区文化施設入館者数	中村邸	5,559	R2	10,256	12,173	文化財課
			木曾漆器館			1,163	R2	1,949	2,114	文化財課	
			榑川開所			900	R2	1,159	978	文化財課	
			文化施設入館者数		短歌館	2,399	R2	3,061	3,165	文化財課	
					自然博物館	7,718	R2	8,395	13,909	文化財課	
					平出博物館	4,063	R2	5,148	4,994	平出博物館	
					平出博物館 ガイダンス棟	17,166	R2	28,661	43,636	平出博物館	
					本洗馬歴史の里 資料館	1,362	R2	1,364	1,790	平出博物館	
			古田晁記念館	168	R2	304	359	図書館			
			8 自然体験宿泊施設の維持と効果的活用	塩塚体験学習の家の利用者数	0	R2	118	426	社会教育スポーツ課(社会教育)		
				9 その他の施設の維持と効果的活用	スポーツ施設利用者数	300,302	R2	488,670	520,629	社会教育スポーツ課(スポーツ)	
			誰でもスポーツに取り組める環境がある		36.4%	R2	35.5%	38.8%	市民意識調査		
			2	新たな学習空間の確保	1 学校施設の開放による地域に開かれた学校づくり	学校開放講座等の実施件数	0	R2	1	1	中央公民館(ほか)
					2 自然施設の学習の場への活用	新たに生涯学習施設として利用できるようなった施設	0	R2	0	0	社会教育スポーツ課(社会教育)
2	学習機会の提供と情報発信	1 ライフステージに応じた自主的な取り組みの支援	1 乳幼児期 生活習慣の確立	子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができる	43.8%	R2	38.6%	51.2%	市民意識調査		
			2 少年期 様々な体験の場、体験の機会づくり	子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされている	40.4%	R2	33.3%	34.9%	市民意識調査		
			5 熟年期 生きがいづくり	塩尻ロマン大学の講座数・参加者数	講座数	40	R2	47	49	社会教育スポーツ課(社会教育)	
				参加者数	73	R2	63	67	社会教育スポーツ課(社会教育)		
			2 多様なニーズに応じた学習機会の提供	2 スポーツの振興	週1回以上スポーツ活動を行う市民の割合	32.2%	R2	31.5%	43.9%	市民意識調査	
		3 生き生きとした健康づくりに関する取り組みの推進		特定健診受診率	45.4%	R元	40.1%	42.8%	健康づくり課		
				週2回以上1回30分以上の運動習慣がある人の割合	31.2%	R元	31.2%	31.3%	健康づくり課		
				生活習慣を改善してみようと思う人の割合	62.2%	R元	62.6%	61.3%	健康づくり課		
		4 多様な芸術文化活動の振興	市主催芸術文化事業への来場者数	1,200	R2	3,450	5,430	社会教育スポーツ課(社会教育)			
			文化会館利用者数	13,550	R2	60,250	70,277	社会教育スポーツ課(社会教育)			
3	3 学習情報の収集と提供	1 学習情報の収集と提供	市の生涯学習の取り組みを知っている市民の割合	24.8%	R2	24.7%	27.3%	市民意識調査			
3	新しい仲間をつくる団体サークルの育成	1 自立した活動団体の育成	総合文化センター登録団体数	206	R2	212	205	社会教育スポーツ課(社会教育)			
			地域スポーツ団体数	3	R2	3	1	社会教育スポーツ課(スポーツ)			
			2 団体・サークルの交流の促進	総合文化センター利用団体数	4,754	R2	6,214	7,704	社会教育スポーツ課(社会教育)		
5	成果の発表・活用と地域への還元	1 趣味的な活動について成果の発表と活用の促進	市主催の芸術・文化事業の展示・発表団体数	24	R2	95	132	社会教育スポーツ課(社会教育)			
			健康・スポーツにおける成果の還元と活用の促進	特定健診受診率(再掲)	45.4%	R元	40.1%	42.8%	健康づくり課		
		2 地域課題を自ら解決する体制の推進	1 住民同士の助け合いや地域交流の促進	互いに支え合い、助け合う人間関係が地域に築かれている	41.3%	R2	33.0%	39.0%	市民意識調査		
				市民が中心となったまちづくり活動が活発に行われている	28.9%	R2	32.8%	28.6%	市民意識調査		
			2 公民館活動等の発展	市民交流センターの市民営に向けた提案事業委託数	2	R2	2	2	市民交流センター		
				地域活性化プラットフォーム事業補助金を活用した事業の参加者数	799	R2	2,234	2,503	地域づくり課		

スポーツ推進計画の指標及び推進状況

基本目標1 子どものスポーツ機会の充実	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略					
	指標	基準値 (H25)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
スポーツ少年団登録団員数	570人	570人	570人	498人	511人	501人	472人	522人	521人	520人	491人	517人

基本目標2 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進

指標	基準値 (H24)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	週1回以上スポーツに親しむ成人の割合(□は社会体育意識実態調査による)	【35.4%】	50.00%	28.60%	30.10%	32.90% 【40.0%】	31.70%	31.7%	31.4%	34.5%	31.5% 【47.5%】
子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境があると感じる人の割合	46.20%	50.00%	39.20%	36.80%	35.30%	32.10%	32.9%	35.8%	42.3%	35.5%	38.7%

基本目標3 スポーツを通じた地域づくり

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	市内の総合型地域スポーツクラブの数	2クラブ	4クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ

第1期中期戦略 ← 第2期中期戦略 ← 第3期中期戦略

基本目標4 競技スポーツの振興

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
基準値 (H26)	年1回	年3回以上	1	1	1	0	3	2	0
トップアスリートとの交流事業 の開催回数	年1回	年3回以上	1	1	1	0	3	2	0

基本目標5 スポーツに関わる人材の育成

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
基準値 (H26)	年1回	年1回以上	1回	1回	2回	0	0	1回	2回
指導者向けの講習・教室等の 開催回数	年1回	年1回以上	1回	1回	2回	0	0	1回	2回

基本目標6 スポーツ施設の整備と有効活動

指標	第1期中期戦略		第2期中期戦略			第3期中期戦略			
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
目標	H26実績	目標値 (H35)	H29実績	H30実績	R1実績 <td>R2実績</td> <td>R3実績</td> <td>R4実績</td> <td>R5実績</td>	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
基準値 (H25)	475,861人	475,000人	508,684人	474,213人	434,998人	304,363人	386,292人	488,670人	428,930人
スポーツ施設利用者数	516,169人	502,335人	508,684人	474,213人	434,998人	304,363人	386,292人	488,670人	428,930人

サービス内容	サービス指標	R3	R4	R5
資料の収集	蔵書数：54万点（雑誌、視聴覚資料は除く）	505,820	514,522	526,390
資料の整理・保存	蔵書数：54万点（雑誌、視聴覚資料は除く）	505,820	514,522	526,390
資料の提供	人口一人当たりの貸出冊数：10冊/年	10.23	9.80	9.54
レファレンスサービス	レファレンス受付件数（全館）：2,500件以上/年	2,429	2,006	1,779
分館	公民館や地域と連携した企画事業：各館3回/年	3.75	2.8	2.8
乳幼児サービス・児童サービス	児童書の蔵書回転率：2冊/年	2.1	2.09	1.97
青少年サービス	中高生の利用者数（全館）：5,500人以上/年	5,389	6,362	5,511
高齢者サービス	高齢者が参加するイベント等で図書館を紹介する回数と高齢者向け企画事業の開催回数合計：10回/年	18	19	14
バリアフリーサービス	テーマボックスを含む、企画・行事の開催：3件以上/年	3	4	6
ビジネス支援サービス	ビジネス支援サービスの広報回数：10件以上/年 ビジネス相談会への相談件数：25件以上/年 ビジネス相談会を活用した創業者の誕生：1件以上/年	16 34 0	26 54 0	42 73 1
子育て支援サービス	図書館又は子育て関係部署と連携した出張図書館等企画事業の実施：20回/年	17	28	33
多文化・多言語サービス	外国語で書かれた資料の購入：150冊/年	購入102 寄贈58	購入104 寄贈10	購入97 寄贈6
医療・健康情報サービス	市の担当部署や医療機関等と連携した企画事業の実施：2回/年	1	3	6
図書館サポーターとの協働	登録者との意見交換会の開催：4回/年	4	4	4
地域資料の充実と活用	地域資料にかかわる人物等の紹介や、地域資料を生かした企画事業の開催：3回/年	24	14	22
学校連携	学校司書の研修の機会：3回以上/年	4	3	3
企画事業	イベント参加人数（全館）：18,000人/年	6,320	13,718	15,555
情報発信	メディアに取り上げられる回数：200回/年	158	204	201
デジタル資料の充実と活用	データベース利用促進のための企画開催：3回/年	1	0	1

数値目標の内容	現在の数値 (R3)	現在の数値 (R4)	現在の数値 (R5)	目標数値 (R7)
① 学校図書館や地域の図書館の利用の割合※[1]				
児童数の割合 (小6年)			72.00%	85%
生徒数の割合 (中3年)			54.20%	60%
② 1日に読書をしている児童数の割合※2 (小6年)	79.60%	75.30%	82.00%	90%
生徒数の割合 (中3年)	71.10%	71.40%	74.50%	85%
③ 本と子どもをつなぐ事業への参加者数	6,339人	9,055人	10,625人	10,000人
おはなし会	2,567人	4,277人	4,579人	
おはなしプレゼント	994人	1,069人	1,293人	
その他	2,778人	3,709人	4,753人	
④ 「こんにちは絵本」(ブックスタート)の配布率	99%	98%	98%	100%
「なかよし絵本」(セカンドブック)の配布率	97%	99%	100%	100%
⑤ 子どもの読書環境の数値 団体貸出数	38,294冊	38,184冊	45,096冊	45,000冊

※[1] ①は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。

質問事項の「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」による

令和3・4年度は①の質問事項がないため、集計できませんでした。

※2 ②は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。

質問事項の「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」による

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため①②の数値なし。

令和5年度 塩尻市教育委員会会議等記録

1. 教育委員

氏名	任期	
赤羽高志	教育長	令和4年6月27日～令和7年6月26日
碓井邦雄	教育長職務代理者	令和2年6月26日～令和6年6月25日
小林夕香	委員	令和元年6月26日～令和5年6月25日
徳武あゆ子	委員	令和3年7月1日～令和7年6月30日
甕剛	委員	令和4年9月12日～令和8年9月11日
八島思保	委員	令和5年6月26日～令和9年6月25日

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案件	
4月27日	4月定例	報告案件	塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市短歌館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について
			令和4年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
			令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>
		議事案件	塩尻市社会教育委員の委嘱について
			塩尻市奈良井伝統的建造物群保存地区計画の変更について
5月25日	5月定例	報告案件	市議会5月臨時会報告
			塩尻市社会教育委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市立図書館協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			檜川地区文化施設協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市文化財保護審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
		塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について	
議事案件	塩尻市人権教育推進委員の委嘱について		
6月29日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告
		議事案件	塩尻市立小・中学校における副学籍による交流及び共同学習要綱の一部改正
7月27日	7月定例	報告案件	塩尻市文化財保存活用地域計画の認定について
			塩尻市教育振興審議会委員の辞任及び委嘱に係る専決処分報告について
		議事案件	塩尻市中学校部活動地域移行等協議会委員の委嘱について
			令和6年度に使用する特別支援学級用教科用図書の採択について

期日	会議	案 件		
8月24日	8月定例	報告案件	市議会7月臨時会報告	
			学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について	
		議事案件	塩尻市教育委員会共催及び後援に関する事務取扱要綱	
			塩尻市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則	
			塩尻市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則	
			小学校の教科用図書の採択について<期間限定非公開>	
その他案件	学校職員の指導上の措置について<非公開>			
	第37回全国短歌フォーラムin塩尻投稿数			
9月21日	9月定例	報告案件	学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について	
10月26日	10月定例	報告案件	市議会9月定例会報告	
		議事案件	塩尻市立自然博物館冬期平日の休館について	
			塩尻短歌館冬期平日の休館について	
令和5年度(2023年度)全国学力・学習状況調査の結果について				
11月24日	11月定例	報告案件	学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について	
12月22日	12月定例	議事案件	塩尻市塩嶺体験学習の家条例施行規則の一部を改正する規則	
			学校職員の指導上の措置について<非公開>	
1月25日	1月定例	報告案件	塩尻市議会12月定例会報告	
			市民交流センター大規模改修工事に伴う休館への対応について	
2月20日	2月定例	報告案件	市議会1月臨時会報告	
			議事案件	塩尻市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則
				塩尻市教育委員会処務規程及び塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部改正
				塩尻市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令
		その他案件	塩尻市教育センター事業運営要綱及び塩尻市中間教室事業運営要綱の一部改正	
			教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について<期間限定非公開>	
令和5年度教育委員会関係補正予算(案)について<期間限定非公開>				
令和6年度教育委員会関係予算(案)概要<期間限定非公開>				
3月21日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告	
			令和6年度塩尻市立学校の休業日に係る専決報告について	
			教育委員会事務局4月1日付人事異動について	
		議事案件	塩尻市スポーツ推進計画(第2期)について	
			第2次塩尻市立図書館サービス計画について	
			第二次塩尻市教育振興基本計画について	
学校職員の指導上の措置について<非公開>				

3. 協議会

期日	協議事項
4月27日	令和4年度中学校卒業生進路状況について 塩尻市社会福祉協議会理事の推薦について
5月25日	教育委員就任・退任について 児童館運営委員会委員について 榎川小中学校の小規模特認校制度の令和6年度導入について
6月29日	部活動地域移行協議会の設立について 新塩尻市立平出博物館基本計画（案）について 不登校対応検討委員会より（令和4年度の不登校児童生徒数等） 夏休み中の教育センター研修講座について 塩尻市要保護児童対策地域協議会代表者会議について（報告）
7月27日	「元気っ子応援事業」について 榎川小中学校の小規模特認校制度導入について 総合教育会議について
8月24日	日の出保育園増築棟の供用開始について 教育委員会視察研修について
9月21日	不登校対応検討委員会の取組について 令和5年度 全国学力学習状況調査 結果と考察について 夏の研修講座の報告 第二期塩尻市教育振興基本計画の策定について
10月26日	教育委員会自己点検・評価について
11月24日	
12月22日	塩尻市スポーツ推進計画（第2期）の素案について 市内保育園における火傷事故について（報告） 令和6年度教育委員会開催日程について
1月25日	塩尻市スポーツ推進計画（第2期）（素案）について 第二次塩尻市教育振興基本計画（案）について 令和6年度教育委員会開催日程について
2月20日	第二次塩尻市立図書館サービス計画（案）について 塩尻市部活動地域移行計画（案）について 第二次塩尻市教育振興基本計画（案）について 桔梗小学校の2学期制の導入について
3月21日	教育委員会自己点検・評価について 令和6年度第1回学校運営協議会について

4. こんにちは教育委員会

11月17日 広陵中学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談
 11月28日 片丘小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談

5. 教育委員研修

11月21日 上田市内教育・文化施設 教育委員研修視察

6. 諸表簿・施設等点検

11月14日 両小野中学校
 11月27日 塩尻西小学校
 11月27日 塩尻東小学校

7. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
3月18日	塩尻短歌館	塩尻短歌館 春待ちコンサート ～金子みすゞの世界と春の恋歌～
12月3日～ 3月21日	自然博物館	特別企画展「さわって遊べる木のおもちや展」
2月11日～ 3月31日	平出博物館	企画展 「塩尻の出土品大集合 番外編 一帰ってきたお宝」展
4月13日	図書館	「狂気山脈」 パイロットフィルム上映会
4月25日	図書館	えんぱーくDVD鑑賞会 「巴里のアメリカ人」
4月27日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「補助金申請にも使える『事業計画書』の書き方」
4月29日	図書館	子どもの読書週間 スペシャルおはなし会
4月29日	自然博物館	自然観察会 「塩嶺小鳥の森探鳥会」
4月13日～ 4月30日	図書館	「狂気山脈」複製セル画・原画展
3月30日～ 5月7日	図書館	企画展 塩尻市内ワイナリー展示
5月11日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「2時間で完成!!簡単ホームページ作成講座」
5月13日	図書館	みんなのがん教室@図書館 がん教育って何だろう?
5月14日	社会教育団スポーツ課	第35回 ファミリースポレクフェスティバル
5月14日	中央公民館	中央公民館 「里山で過ごそう!」観察DAY
5月21日	中央公民館	第26回塩尻市公民館研究集会
5月28日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 開講式・斉藤政喜氏講演会『そして僕は紀行作家になった』
5月28日	市民交流センター	こども絵画造形教室エカキッズ 「Let's GO ピクニック2～ワクワク弁当をつくろう!～」
6月4日	教育総務課	こども未来塾 「小学生リーダー研修」
6月7日	社会教育団スポーツ課	ティータイムに短歌を作ろう
5月11日～ 6月6日	図書館	企画展示 木曾漆器展
6月10日	平出博物館	学芸員に聞こう① 今月のテーマ「黒曜石」

期日	担当課	行事名
6月10日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 開講式・小林快次氏講演会 『最新恐竜研究in2023』
6月10日	自然博物館	自然観察会 「上高地自然観察会」
6月11日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 小林快次氏講演会 『最新恐竜研究in2023』
5月13日～ 6月11日	自然博物館	特別企画展 「信州の野鳥展」
6月9日～ 6月11日	社会教育図書館課	令和5年度塩尻市民芸術祭
6月17日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 JAXA 清水敏文氏講演会 『宇宙を知ろう！学ぼう！』
6月17日	市民交流センター	ちびてつ2023（第1回）
6月18日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第131講 「言葉の不思議」 講師：穂村 弘氏
6月24日	図書館	しおり部
6月24日・ 6月25日	市民交流センター	tent～学校とはちょっとちがう学び～
6月25日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾① 熊谷岱藏家の初代「可児永通」
6月25日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 御厨貴氏講演会 『オーラル・ヒストリーから見えて来る政治』
7月1日	平出博物館	第2回土曜サロン 「遺跡からわかる古代道路の構造」
7月1日	図書館	ちょこっと理科読スペシャル 「しゃぼんのふしぎ」
7月8日	平出博物館	学芸員に聞こう② 今月のテーマ「顔のついた土器」
7月8日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第2回「がんを知ろう」
7月8日	こども課(子育て支援センター)	家族でおいでおいでまつり2023
7月9日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第132講 投稿歌の歌評 講師：米川千嘉子氏
7月9日	社会教育図書館課	第16回塩尻市民音楽祭 管弦楽発表
7月9日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター開講式
7月13日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「今さら聞けない原価管理の基本」
7月16日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第2回
7月22日	図書館	しおり部
7月22日	市民交流センター	ちびてつ2023（第2回）
7月23日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 上野千鶴子氏講演会 『女の子はどう生きるか 男の子もどう生きるか』
7月25日	図書館	DVD鑑賞会 「シャレード」
7月29日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 広松由希子氏講演会 『日本の絵本、来し方行く末』
6月30日～ 7月30日	図書館	企画展「信州大学自然科学館と標本」
7月1日～ 7月30日	図書館	企画展「えんてーん」

期日	担当課	行事名
7月30日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第3回
7月30日	市民交流センター	夏休み特別企画 ダンボール迷路
8月3日	自然博物館	自然観察会 夜の親子昆虫観察会
8月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 大槻慎二氏講演会 『編集者の仕事、版元としての展望』
8月6日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第133講 講義「歌の力・ことばの力」 講師：永田和宏氏
8月6日・ 8月7日	市民交流センター	tent～学校とはちよつとちがう学び～
8月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 宮澤優子氏講演会 『G I G Aスクール時代の学校図書館－まだ間に合うはじめての 一歩－』
8月10日	市民交流センター	ホンデリングデー
8月11日	平出博物館	五日市場遺跡発掘体験会①
8月11日・ 8月12日	図書館	木育フェスティバル スペシャルおはなし会
8月12日	平出博物館	学芸員に聞こう③ 今月のテーマ「土器に土器!?土器！ 縄文土器大集合展のみどころ①」
8月1日～ 8月14日	塩尻短歌館	短歌の里 広丘夏まつり 第7回 灯籠短歌大会
8月17日	市民交流センター	えんぱーく de CAMP
7月26日～ 8月19日	塩尻短歌館	塩尻短歌館 書道展
8月19日	図書館教育総務課	令和5年度 塩尻市中学校ビブリオバトル大会
8月19日	市民交流センター	ちびてつ2023 (第3回)
8月19日～ 8月20日	社会教育スポーツ課	塩尻市民音楽祭 バンド発表
8月20日	平出博物館	本洗馬歴史講演会 「島木赤彦と関東大震災 －アララギ派の絆と短歌－」
8月20日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第4回
8月24日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「LINEを使って効率よく集客しよう」
8月26日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第3回「がん情報を探す」
7月22日～ 8月27日	自然博物館	特別企画展 夏休みの昆虫展 ウッドバーニング展
8月27日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第5回
8月28日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 嶋田学氏講演会 『図書館の未来を考えるために、今、振り返っておきたいあれ これ』
8月3日～ 8月31日	図書館	企画展「明日へ伝える昭和の戦争」
8月4日～ 8月31日	図書館	企画展「まるやまあやこ絵本原画展『たんぼぼのふね』」
9月2日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「プラルト工場見学ツアー」

期日	担当課	行事名
9月3日	平出博物館	第20回ひらいで遺跡まつり
9月3日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第6回
9月9日	市民交流センター	ちびてつ2023（第3回）
9月9日	図書館	手話で楽しむおはなし会
9月10日	社会教育四スポーツ課	塩尻市民音楽祭 コーラス発表
9月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 高橋敏夫氏講演会 『歴史時代小説ブームの現在 ー新世代作家たちの冒険ー』
9月10日	図書館	本の寺子屋交流会
9月10日	教育総務課	こども未来塾 「中学生リーダー研修」
9月15日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「今だからこそGoogleビジネスプロフィールを見直そう！」
9月17日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第8期目指せ！図書館マスター 第7回
9月23日	図書館	影絵deおはなし会
9月24日	平出博物館	第1回平出歴史大学 「洞窟壁画に見るヨーロッパ後期旧石器時代の世界観」
8月29日～ 9月25日	市民交流センター	eri silent letter展 (壁柱利用促進事業)
9月26日	図書館	えんぱーくDVD鑑賞会 「望郷」
9月30日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第4回「治療について」
9月2日～ 10月1日	図書館	企画展「絵本作家たなか鮎子作品展」
10月1日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 望月衣塑子氏講演会 『戦争する国へ突き進むいまー軍産複合体国家化にいかにかー』
10月1日	図書館	本の寺子屋交流会
10月3日	図書館	シニア向け図書館活用講座
10月5日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「今からできる！Instagram超活用術」
10月7日・ 10月8日	市民交流センター	tent～学校とはちよつとちがう学び～
10月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 真珠まりこ氏講演会 『もったいないばあさんと絵本の話』
10月14日	市民交流センター	大門ウォークvol.2
10月15日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 氏田雄介氏講演会 「54字に込めるものがたりの世界」
10月20日	図書館	はじめての読み聞かせ講座
10月21日	図書館	しおり部
10月21日	平出博物館	第3回土曜サロン 「宿場の役割とくらし～塩尻市奈良井を事例として～」
10月22日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 堀内美江氏講演会 「ミヒヤエル・エンデが教えてくれたこと」
10月22日	平出博物館	秋の妙義山城を歩く
10月28日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 古田晁記念館文学サロン 第1部 野々井透氏講演会 「書きたいものに、近づいてゆく」 第2部 安藤宏氏講演会 「古田晁と太宰治『人間失格』」

期日	担当課	行事名
10月29日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 古田晁記念館文学サロン 「記念館見学&墓参ツアー-滂沱忌」
10月29日	市民交流センター	こども絵画造形教室エカキッズ2 「紙粘土でモンスタースイーツをつくろう！」
10月29日	教育総務課	こども未来塾 「小学生リーダー研修」
10月28日～ 10月30日	家庭支援課	児童虐待防止推進月間
10月3日～ 10月31日	図書館	写真パネル展 「里親制度について」 「里親家庭の暮らし」
11月3日	図書館	読書週間スペシャルデー 「ぐるぐるブックス」
11月3日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 読書週間スペシャルデー 「音であそぼうリズムであそぼう打楽器コンサート」
10月21日・ 10月28日・ 11月3日	自然博物館	ワークショップ おもしろ科学実験
11月3日・ 11月4日・ 11月5日	社会教育四部課	塩尻市民文化祭
11月5日	平出博物館	第2回平出歴史大学 「絵画から読み解く弥生時代の世界観 —世界観研究の今日的意義を考える—」
11月5日	社会教育四部課	だれでもつくれる！短歌講座
11月5日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 三浦雅士氏講演会 「石坂洋次郎と宮崎駿—家族の現在を考える—」
11月10日	社会教育四部課・短歌館	短歌の里 「みてある記」
11月12日	社会教育四部課	洋楽舞踊フェスティバル
11月17日	社会教育四部課	宗賀地区井戸端会議
11月18日	平出博物館	第4回土曜サロン 「信濃と中山道 —絵師・文人の目から中山道・塩尻を見る—」
11月19日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 地域文化サロン 「能楽と語りで聴く古典『耳なし芳一』」
11月23日	図書館	中学・高校ビブリオバトル長野県大会
11月23日	家庭支援課	元気っ子講演会
11月25日	社会教育四部課	笹公人短歌講演会 「おもしろ短歌入門」
11月25日	図書館	しおり部
9月22日～ 11月26日	平出博物館	企画展 「塩原真澄 写真展」
11月26日	教育総務課	こども未来塾 「中学生リーダー研修」
11月26日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 子ども向け落語会 「あたまからっぽにして笑いたいひとあつまれ！！アンコール！」
11月28日	図書館	えんぱーくDVD鑑賞会 「雨月物語」
11月30日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「小規模事業者持続化補助金らくらくセミナー」
11月2日～ 11月30日	図書館	立体地形図の会展示 「地図で楽しむ塩尻のいろいろ」
12月2日	社会教育四部課	豊かな心を育む市民の集い
12月2日	自然博物館	自然科学講座 「身近な外来植物から植物の暮らしや自然を考えよう」

期日	担当課	行事名
12月9日	図書館	みんなのがん教室@図書館第5回
12月9日・ 12月10日	市民交流センター	第8回こどもしおじり
12月10日	社会教育スポーツ課	第16回塩尻市民演劇フェスティバル
12月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 久間十義氏講演会 「新聞記者と小説家の間（はざま）で」
12月10日	図書館	本の寺子屋交流会
12月12日	図書館	レコード交流会
12月14日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「実践キャッチコピー講座」
12月16日	市民交流センター	クリスマスマーケット
11月11日～ 12月17日	自然博物館	昆虫切手展 蝶のブローチ展
12月22日	図書館	ロマン大学「図書館活用講座」
12月23日	市民交流センター	ちびてつ2023（第5回）
10月3日・ 12月28日	塩尻短歌館	【塩尻短歌館 企画展】 荒波を乗り越えてゆく 若山喜志子 ～中原静子への書簡に刻まれた喜志子の情念～ 【特別企画】 ・書家 細野静耀作品展 ・若山喜志子ミニ写真展
12月9日～ 12月28日	図書館	ミヒヤエル・エンデ展 『モモー原書出版50周年』
12月12日～ 12月28日	図書館	ピアリイ展 山本美里写真展「透明人間」
1月5日	社会教育スポーツ課	令和6年塩尻市新春書き初め会
1月7日	社会教育スポーツ課	令和6年塩尻市二十歳のつどい
1月13日・ 1月14日	市民交流センター	tent～学校とはちょっとちがう学び～
1月20日	平出博物館	ひらいで考古雑談 「私の考古学履歴書」
1月20日	市民交流センター	ちびてつ2023第6回
11月19日・ 12月3日・ 12月17日・ 1月7日・ 1月21日	塩尻短歌館	百人一首入門講座 ～百人一首の魅力にふれて みんなで短歌に親しもう～
1月21日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 ダンボールでつくろう！ 100かいたてのいえ
1月21日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 アイデアを形にする楽しさを子どもたちに！ —『100かいたてのいえから広がる世界』—
1月21日	家庭支援課	塩尻市子ども・若者応援事業 ○特別講演会 ○しおじりカレー大作戦
1月6日～ 1月23日	図書館	松本山雅FC写真展 ～2023年シーズンを振り返って～
1月23日～ 1月27日	平出博物館	平出遺跡公園ライトアップ ナイトミュージアム 「遺跡を彩る光の旅」
2月3日	図書館	みんなのがん教室@図書館第6回
2月4日	塩尻短歌館	第29回短歌の里百人一首大会
2月11日	市民交流センター	こども絵画造形教室エカキッズ 「等身大の自分を描く」
2月17日	図書館	本当に怖いおはなし会
2月17日	市民交流センター	ちびてつ2023第7回目
2月20日	家庭支援課	ひきこもりを支える家族交流会
2月24日	社会教育スポーツ課	詠み会in塩尻
2月1日～ 2月25日	図書館	企画展「小説『安曇野』をとりまく人々」 —安曇野・塩尻・松本の職員が作る“郷土”の展示—

期日	担当課	行事名
2月29日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「起業家必見！SNS情報発信セミナー」
3月2日	市民交流センター	ちびてつ2023第8回
2月3日～ 3月3日	図書館	企画展「宇賀神拓也写真展 『掘り下げる写真一人と土の営み』」
3月5日	図書館	シニア向け図書館活用講座
3月9日 3月10日	市民交流センター	tent～学校とはちよっとちがう学び～
3月10日	図書館	しおり部

7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
4月号	2	社会教育スポーツ課	広がる短歌のまち
5月号	2	こども課 (子育て支援センター・ 北部子育て支援センター)	地域ぐるみで子育てを支えるファミリーサポート
9月号	5	教育総務課	表紙の写真「子どもたちの学びは新たな形で歩き出す」 特集「らしく学び、らしく生きる～一人ひとりの育ちに寄り添う～」
9月号	2	文化財課	文化財を後世に残す～塩尻市文化財保存活用地域計画を策定しました～
11月号	5	教育総務課	表紙の写真「子どもたちの笑顔と元気を大切に」 特集「地域で支える中学生のスポーツ・文化芸術活動」
12月号	7	教育総務課	表紙の写真「おいでよ檜川小中学校 檜川から未来にはばたく」 特集「檜川から未来にはばたく～始まる小規模特認校～」
12月号	1	教育総務課	全国学力・学習状況調査一調査の概要と結果報告一
1月号	9	社会教育スポーツ課	表紙の写真「芸術は、心を豊かにする」 特集「心豊かに一芸術一」
1月号	1	社会教育スポーツ課	第37回全国短歌フォーラムin塩尻 入賞作品
2月号	3	社会教育スポーツ課	表紙の写真「20年間の感謝を胸に、新たな一歩を」 令和6年塩尻市 二十歳のつどい



**令和6年度
教育委員会自己点検・評価報告書**

令和7年3月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部学校教育課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>
